



.NS シリーズ

Windows10アップグレード後の処理手順
～Windows7からWindows10～

【第3版】平成28年07月



株式会社ブロードリーフ

※ Windowsは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
※ その他、本書に登場する製品名、アイコンは、該当する各社の各国における著作権、商標または登録商標です。
なお、本文中に商品名を表記する際に、™、®マークは省略させていただきました。

目 次

前提条件

本手順書では

『Windows10にアップグレード後にPM.NS RCオプションを使用する』
場合の各種設定について解説しています。

【必須】 Microsoft Visual J#の修復インストール

【必須】 Windowsサービスの設定変更

【必須】 プログラムインストールディレクトリ権限変更

【必須】 IME（言語入力）方式の設定確認

【FAXオプション利用時のみ必須】 モデムドライバの更新、各種設定の変更

【確認項目】

- 通常使うプリンタ設定の確認
- ユーザーアカウント制御の設定確認
- adobe Acrobat Readerの利用バージョン確認
- Windows10で.NSシリーズを利用する際の注意点
- 伝票印刷時にプレビュー画面で文字化けが発生した場合

本手順書に記載の設定を行っても正常に動作しない場合は
お手数ですが弊社コールセンターまでご連絡ください。



問い合わせ営業時間

0570-0570-20

（上記ナビダイヤルサービスが使えない・つながらない場合は、
03-5781-3251でも承ります。
※電話料金に関しては、お客様の加入電話会社様にご確認ください。）

※お客様へのお願い

商品ごとに専任の技術担当者を配置していますので、対象商品名をお確かめの上お電話ください。

9：00～17：30（土、日、祝日および弊社休業日は除く。）

Microsoft Visual J# 2.0 再頒布可能パッケージの修復

現在ご利用中の.NSシリーズを導入のパソコン端末を
Windows10にアップデートした場合、基本プログラムの変更により
弊社システム機能の一部が正常動作しない可能性があります。

Windowsのアップデート処理後に本手順書を確認の上、
パソコンの設定変更を行っていただきますようお願いいたします。

■ Microsoft Visual J# 2.0 再頒布可能パッケージの修復インストール

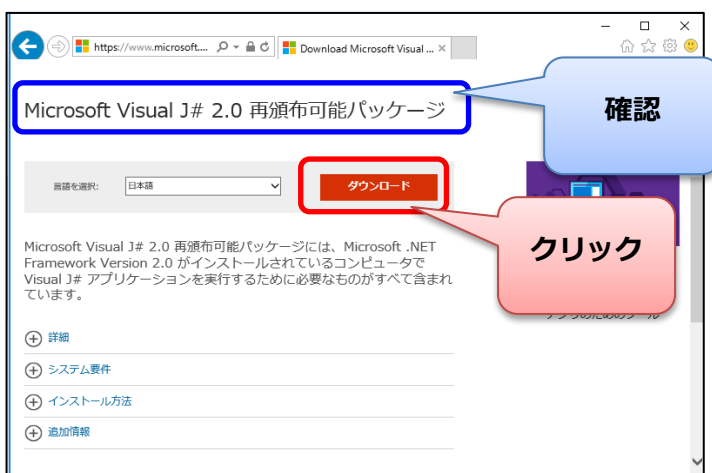
①弊社ホームページより必要なプログラムのダウンロードサイト先のURLをクリックします。



Microsoft Visual J# 2.0 再頒布可能パッケージダウンロード先

<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=4712>

②処理が必要なプログラムのダウンロードサイトが表示されます。「ダウンロード」をクリックします。



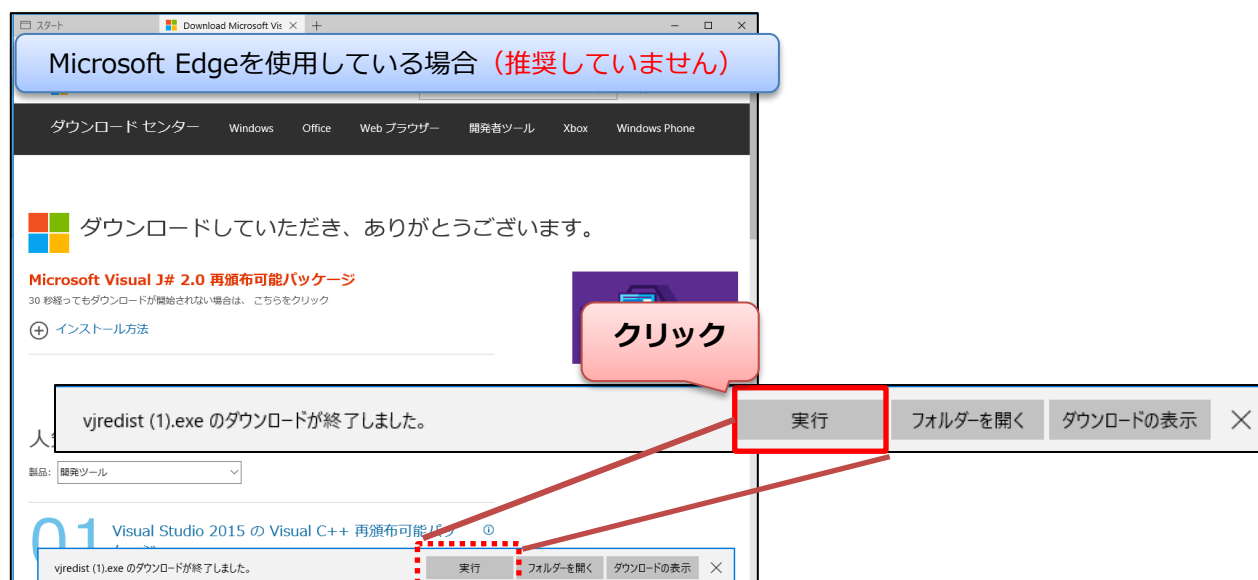
ダウンロードするプログラムが
「Microsoft Visual J# 2.0 再頒布可能パッケージ」
と表示されていることを確認します。

Microsoft Visual J# 2.0 再頒布可能パッケージの修復

③画面下部に「実行(R)」ボタンが表示されるのでクリックします。



※使用しているブラウザが異なる場合は「実行」方法が異なります。

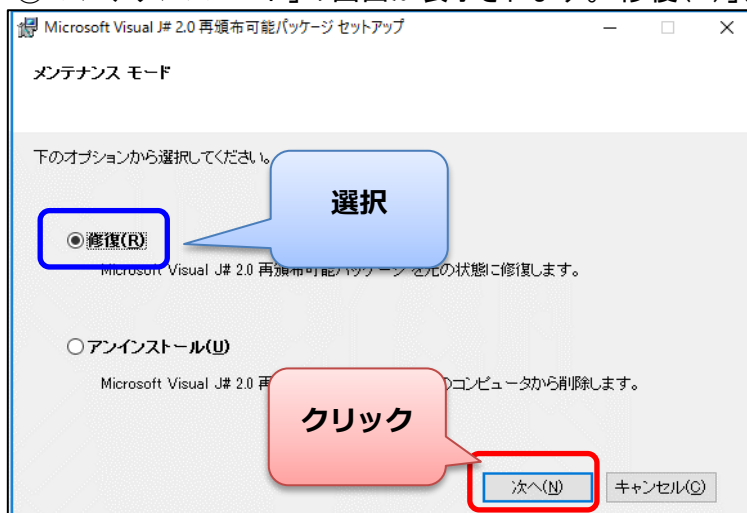


Microsoft Visual J# 2.0 再頒布可能パッケージの修復

④「ユーザーアカウント制御」の確認画面が表示される場合は「はい(Y)」をクリックします。



⑤「メンテナンスモード」の画面が表示されます。「修復(R)」を選択し「次へ(N)」をクリックします。



⑥修復処理の完了後「完了(F)」をクリックして終了します。



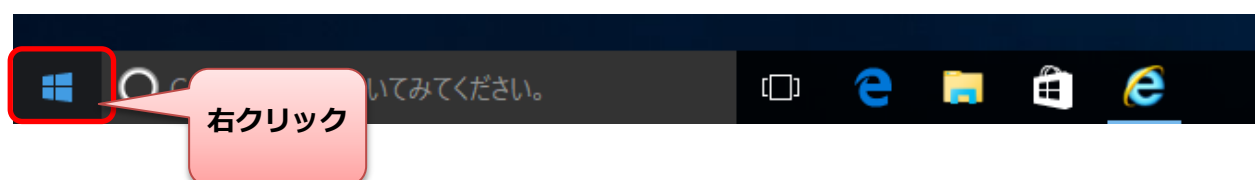
Windowsサービスの設定変更

アップデート後に.NSのシステム動作に関連する Windows設定を確認します。

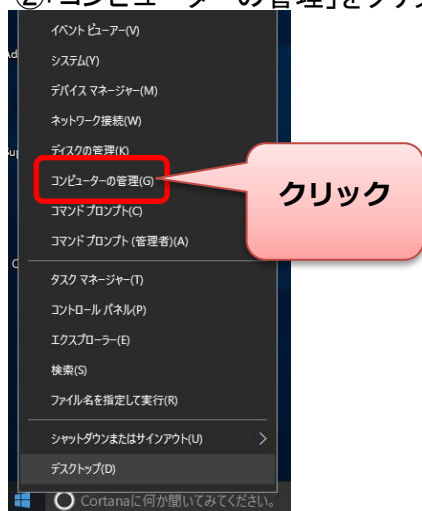
■ Windowsサービスの設定変更

※ 本手順を行わない場合、RCオプションが正常に起動しない可能性があります。

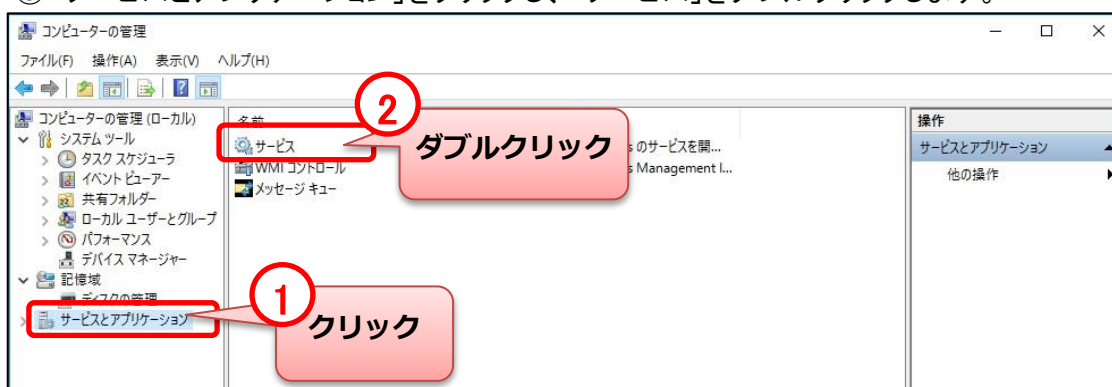
① Windows10にアップデート後、画面左下にある「」を右クリックします。



② 「コンピューターの管理」をクリックします。

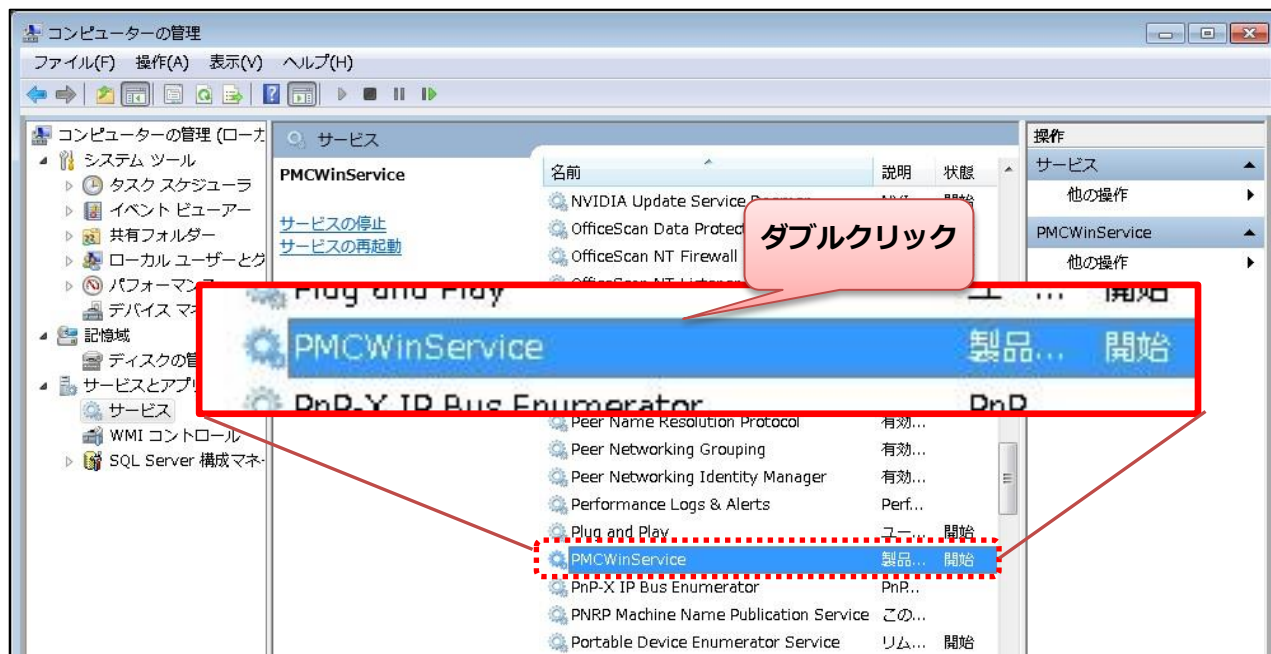


③ 「サービスとアプリケーション」をクリックし、「サービス」をダブルクリックします。

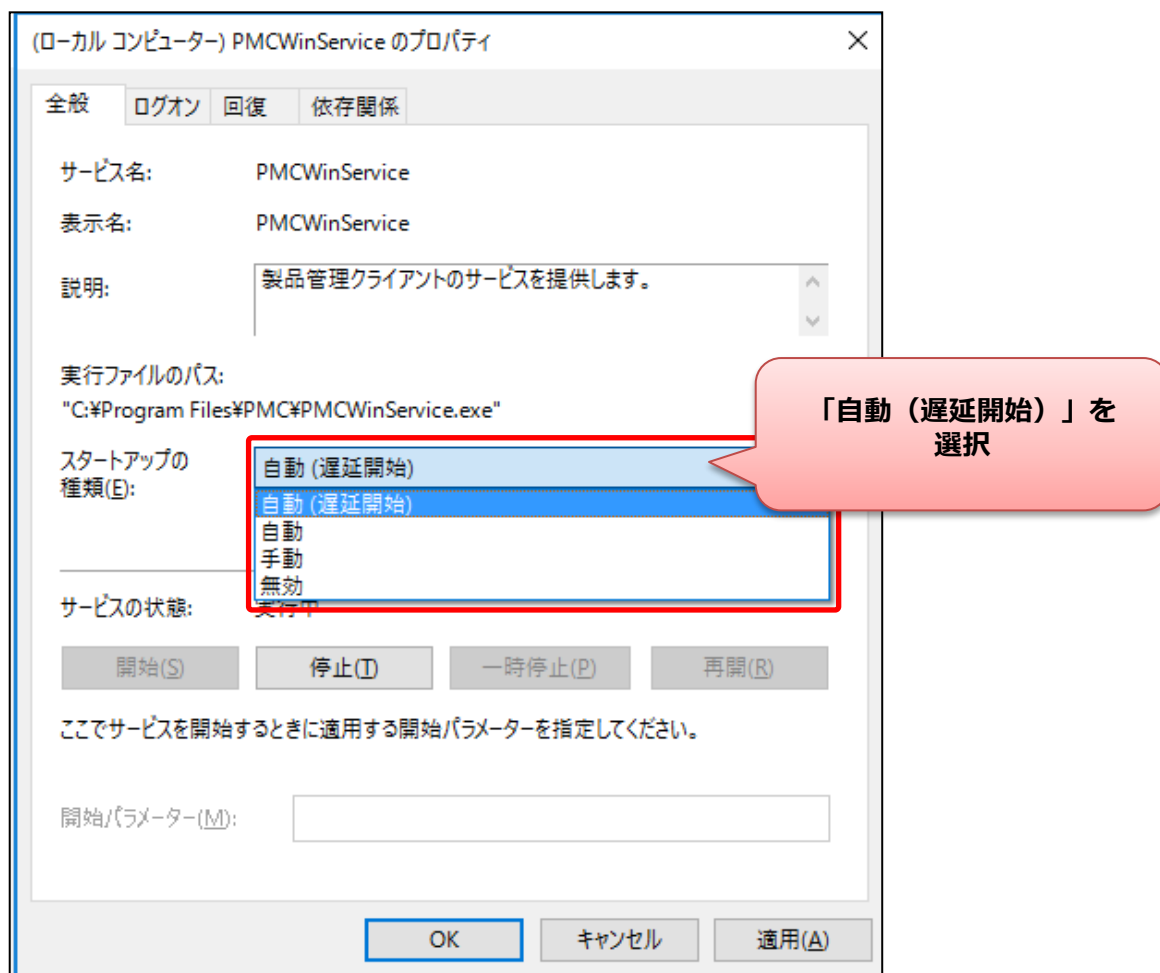


Windowsサービスの設定変更

④「PMCWinService」をダブルクリックで選択します。

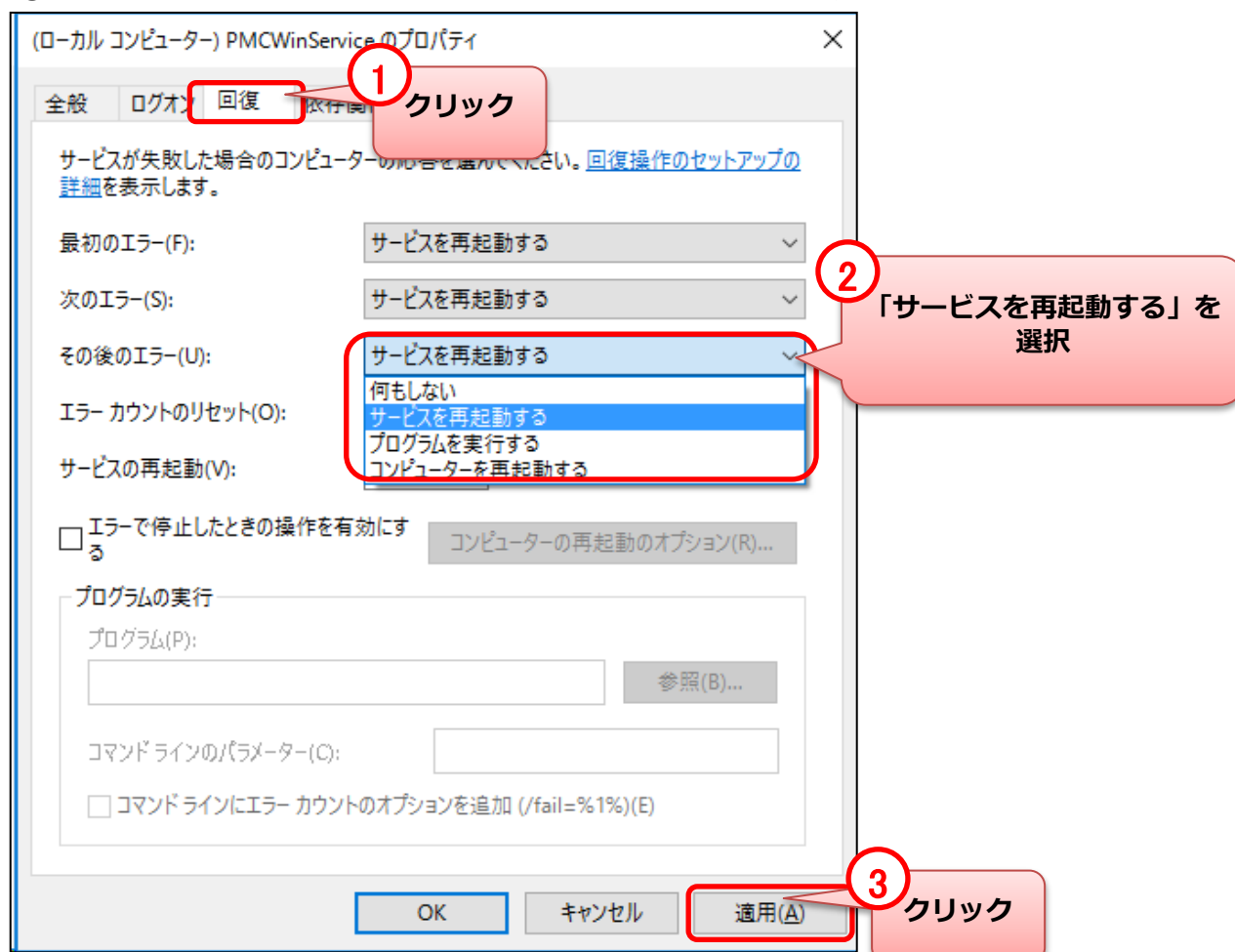


⑤「スタートアップの種類」の項目を『自動 (遅延開始)』に変更します。



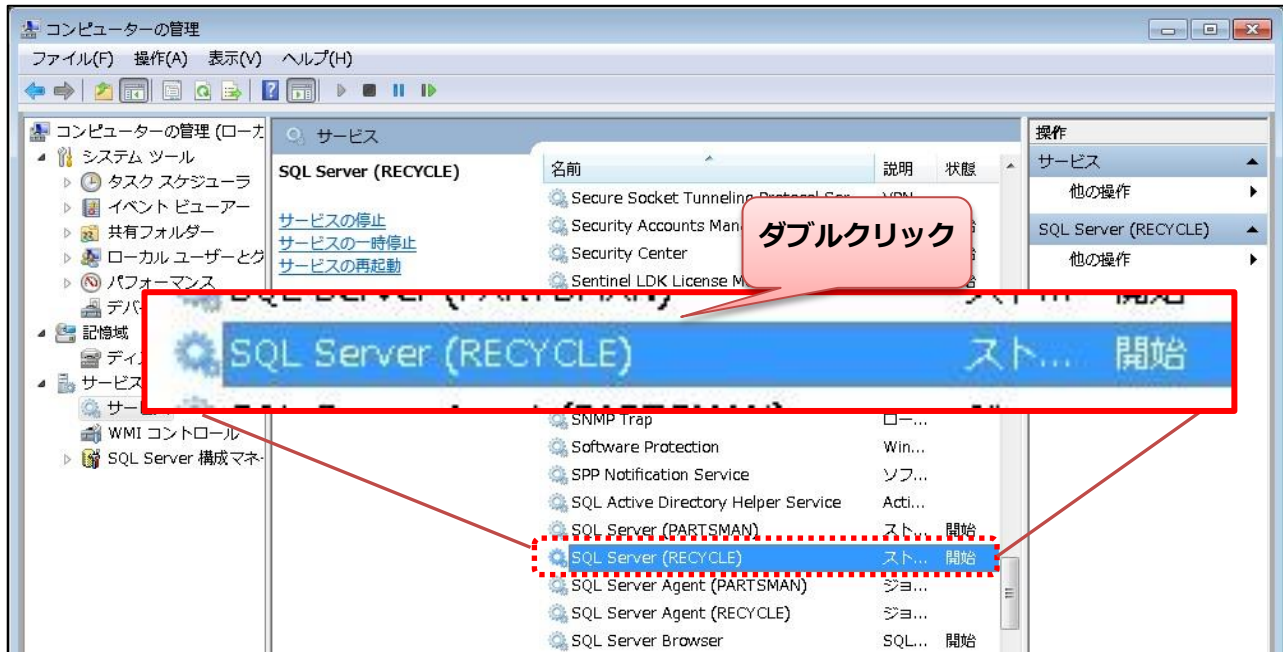
Windowsサービスの設定変更

⑥「回復」をクリックし、「その後のエラー」の項目を『サービスを再起動する』に変更します。

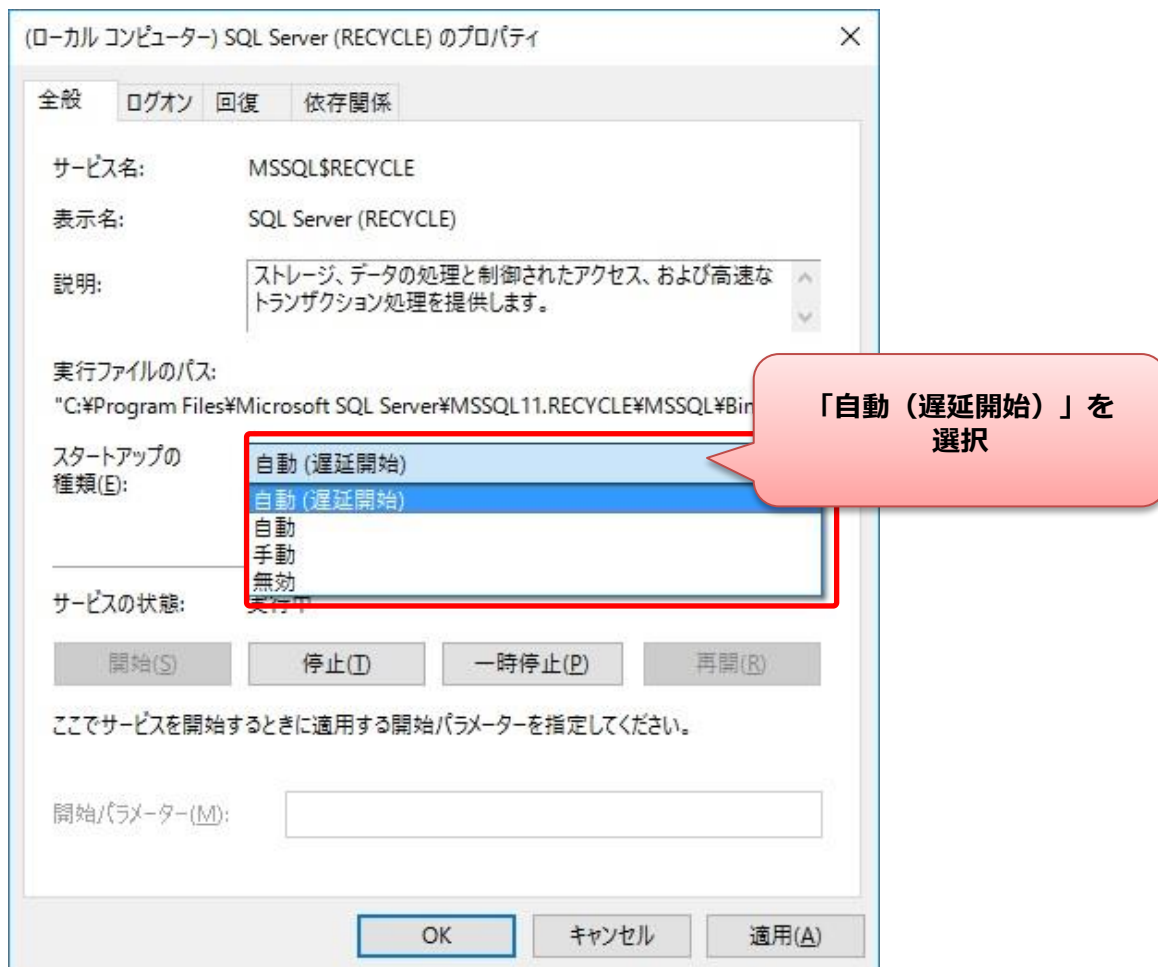


Windowsサービスの設定変更

⑦「SQL Server(RECYCLE)」をダブルクリックで選択します。

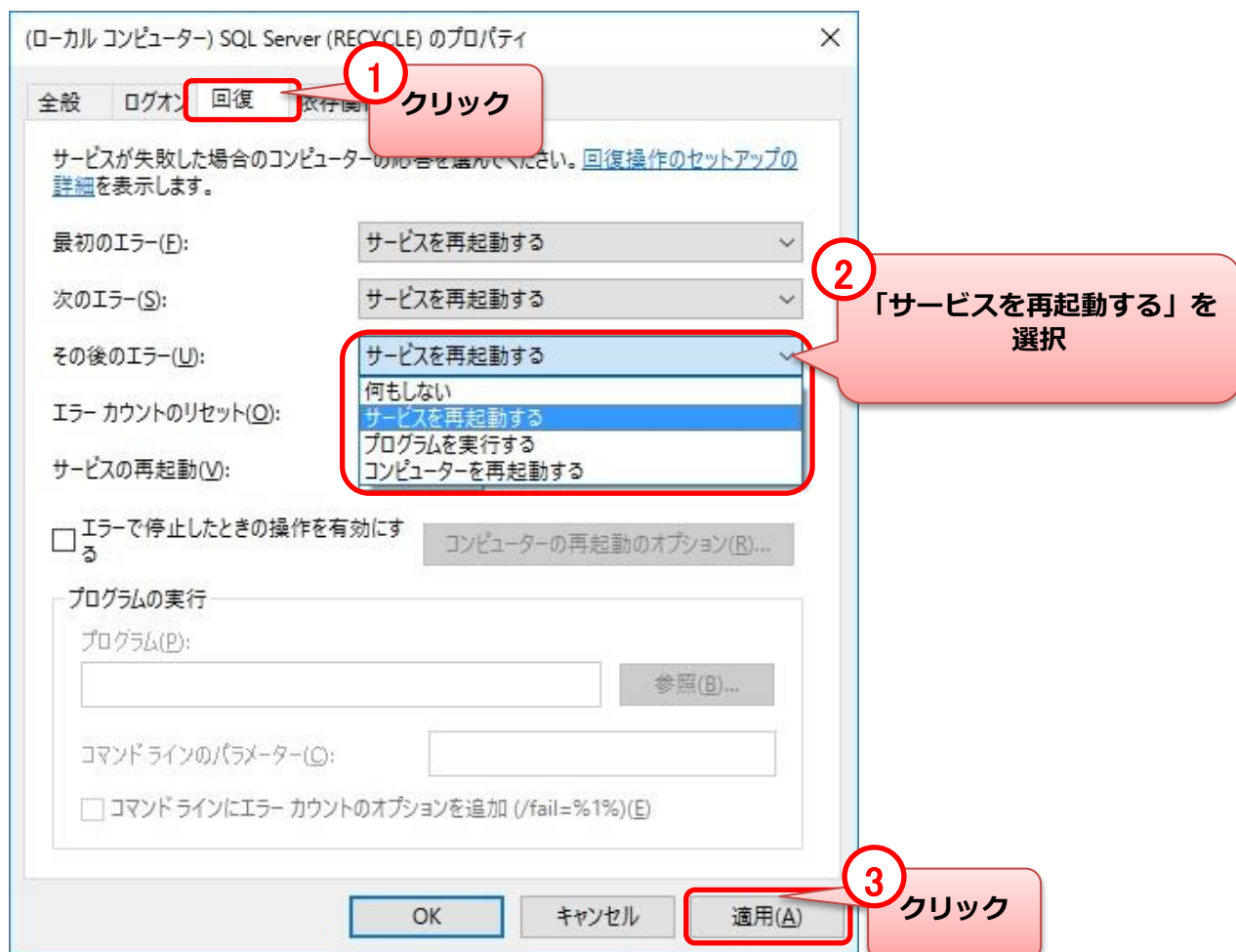


⑧「スタートアップの種類」の項目を『自動(遅延開始)』に変更します。



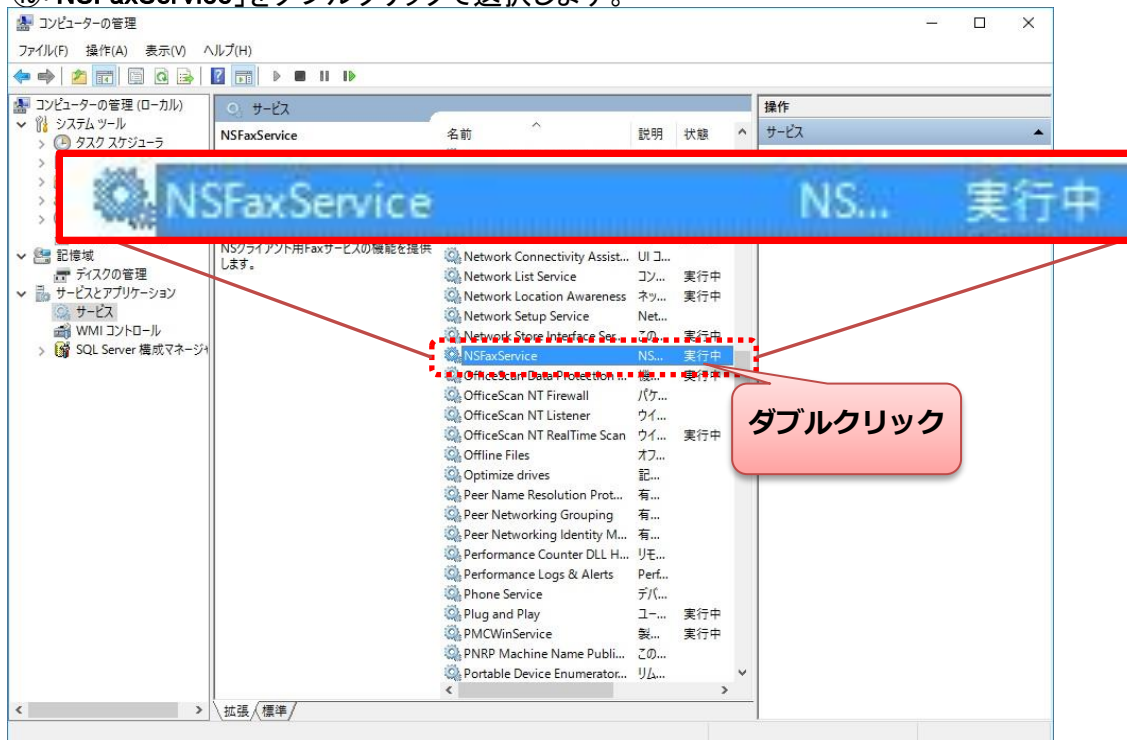
Windowsサービスの設定変更

⑨「回復」をクリックし、「その後のエラー」の項目を『サービスを再起動する』に変更します。

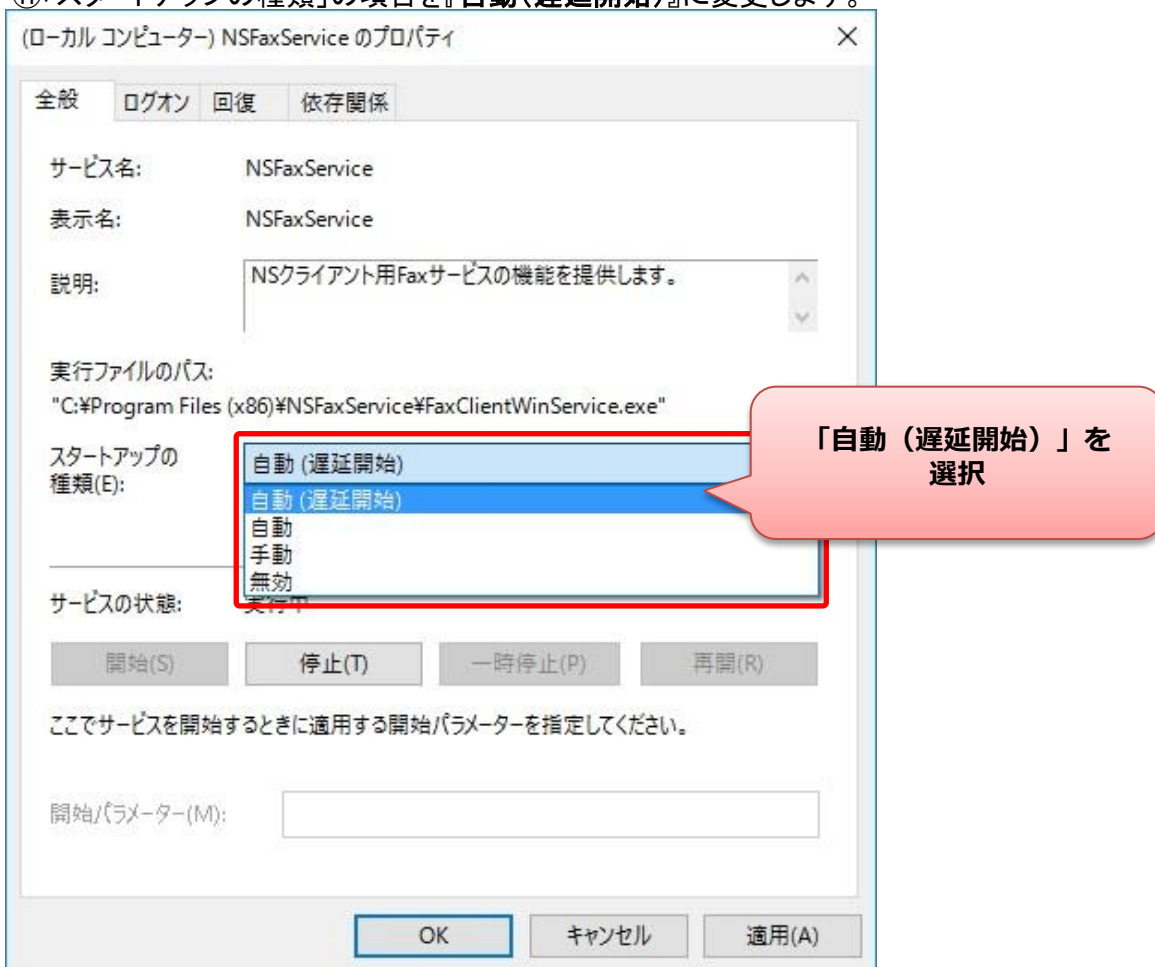


Windowsサービスの設定変更（※FAXサービス利用時のみ）

⑩「NSFaxService」をダブルクリックで選択します。

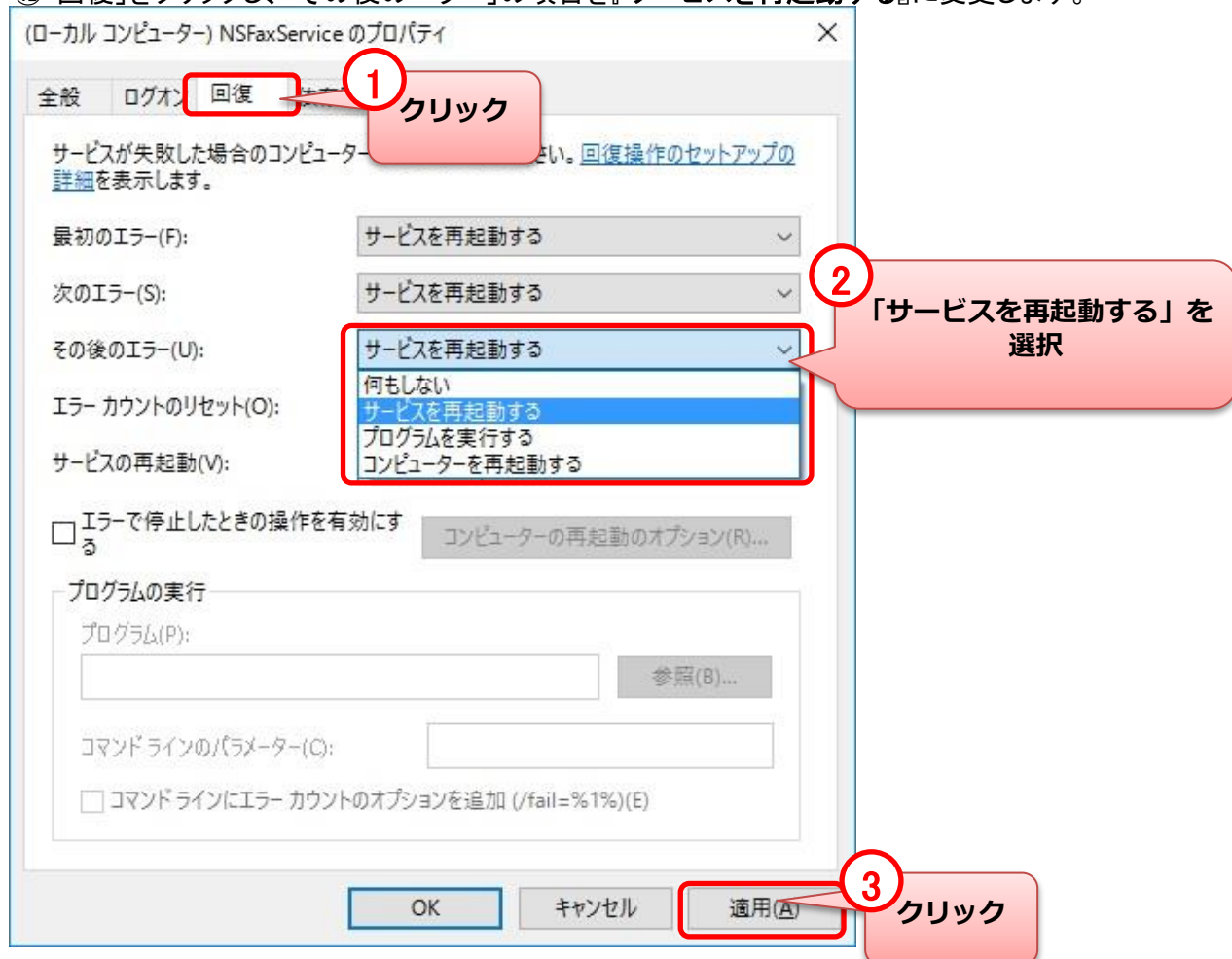


⑪「スタートアップの種類」の項目を『自動(遅延開始)』に変更します。



Windowsサービスの設定変更（※FAXサービス利用時のみ）

⑫「回復」をクリックし、「その後のエラー」の項目を『サービスを再起動する』に変更します。




プログラムインストールディレクトリ権限変更

アップデート後に.NSのシステム動作に関連するWindows設定を確認します。

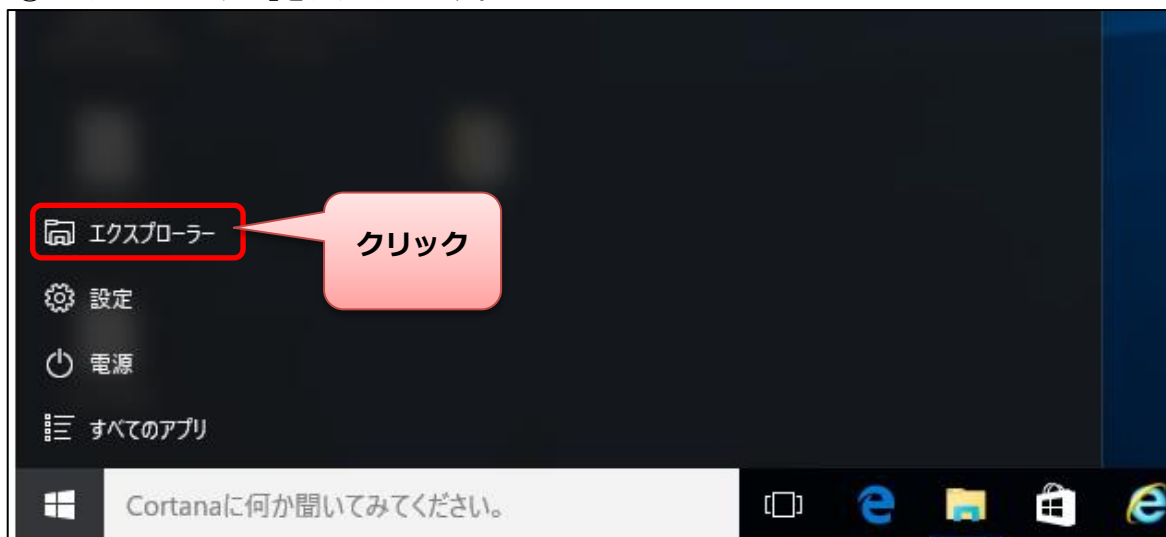
■プログラムインストールディレクトリ権限変更

※ 本手順を行わない場合、RCオプションが正常に起動しない可能性があります。

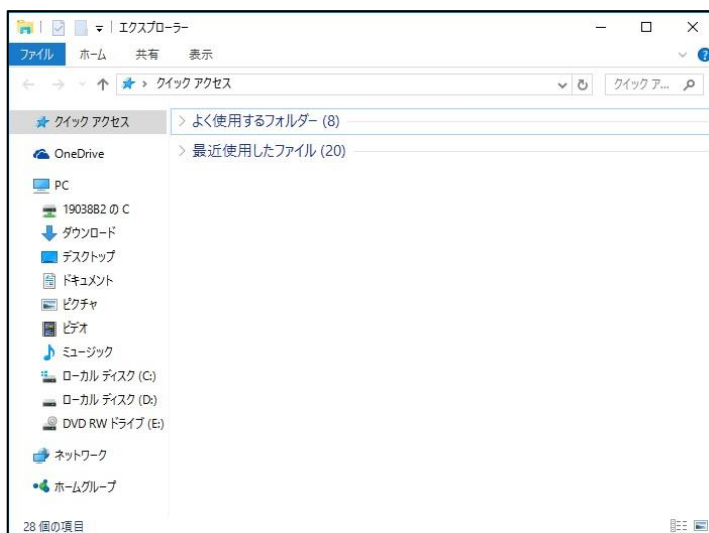
①Windows10にアップデート後、画面左下にある「」をクリックします。



②「エクスプローラー」をクリックします。

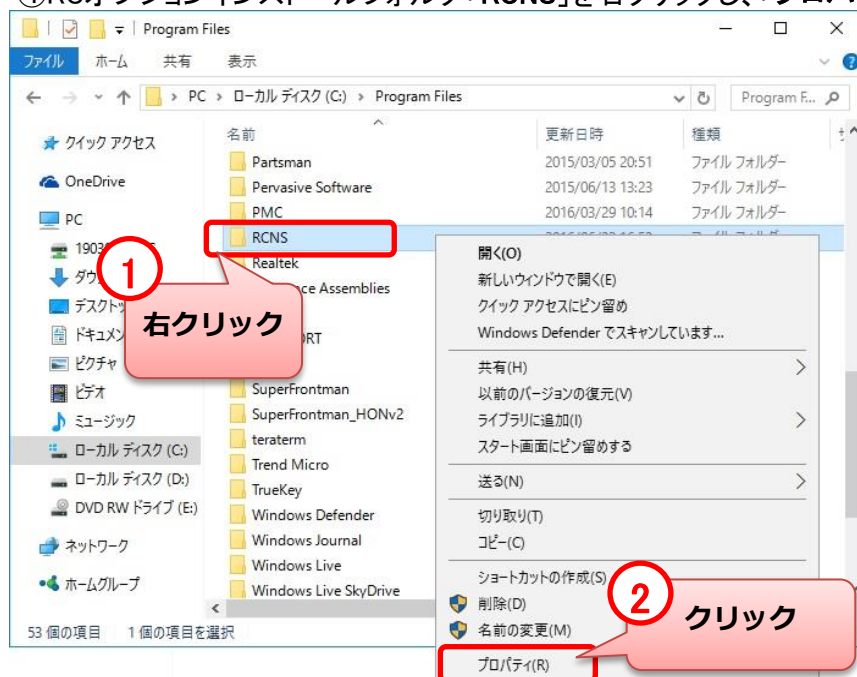


③「エクスプローラー」が表示されます。



プログラムインストールディレクトリ権限変更

④RCオプションインストールフォルダ「RCNS」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



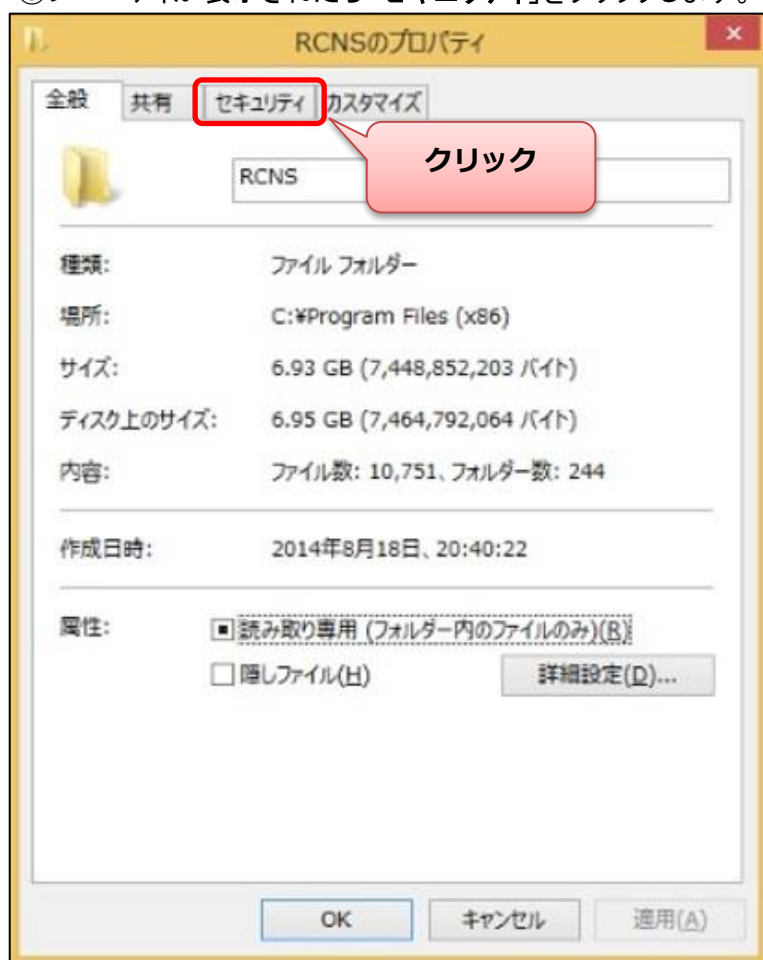
インストールフォルダは
環境により異なる場合があります。

【インストールフォルダの主な場所】

◎ 32bit版の場合
c:¥ProgramFiles

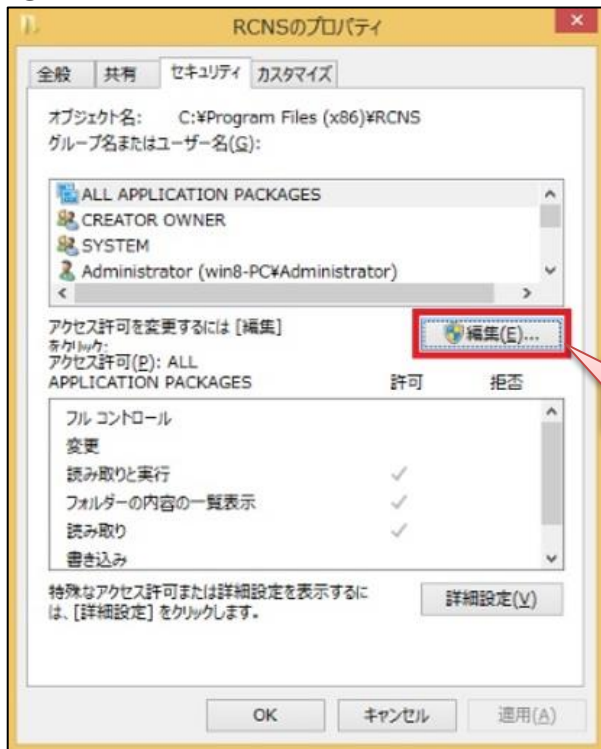
◎ 64bit版の場合
c:¥ProgramFiles(x86)

⑤プロパティが表示されたら「セキュリティ」をクリックします。

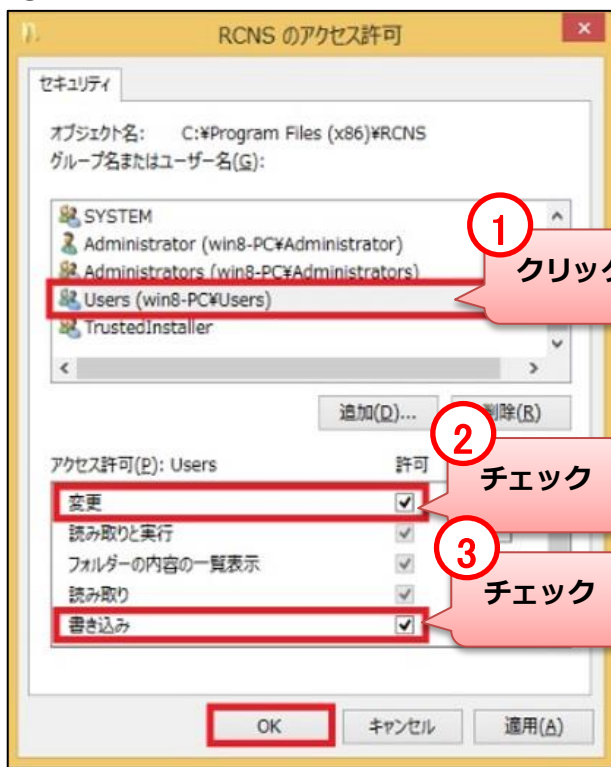


プログラムインストールディレクトリ権限変更

⑥「編集」をクリックします。



⑦「Users」をクリックし、「アクセス許可」欄の「変更の許可」にチェックを入れます。



以上でプログラムインストールディレクトリの権限設定変更は完了です

モデムドライバ設定の変更（※FAXサービスオプション利用時のみ）

アップデート後に.NSのシステム動作に関連するWindows設定を確認します。

■モデムドライバ設定の変更（※FAXサービスオプション利用時のみ）

※ FAXサービスオプションを利用しないお客様は本手順は不要です


- ① 現在使用しているモデムがアイ・オー・データ製「USB-PM560ER」の場合、モデムのドライバをWindows10用の最新ドライバに更新します。

※最新のドライバは下記のメーカーサイトから入手可能です。

http://www.iodata.jp/lib/product/u/3141_win10.htm

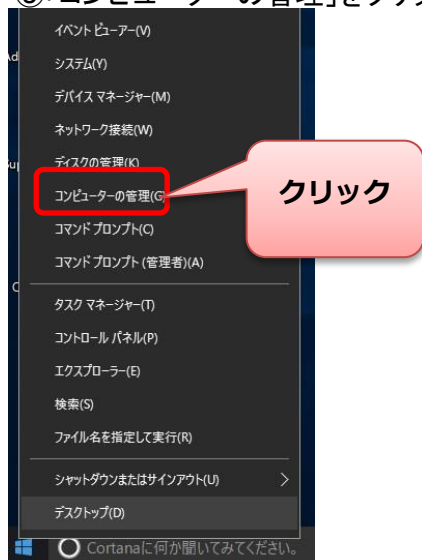
ドライバ更新の方法に関してはメーカーサイトのご案内をご参照ください。

※他メーカーの機器をご利用の場合は各メーカーの情報をご参照ください。

- ②モデムドライバ更新後、画面左下にある「」を右クリックします。



- ③「コンピューターの管理」をクリックします。

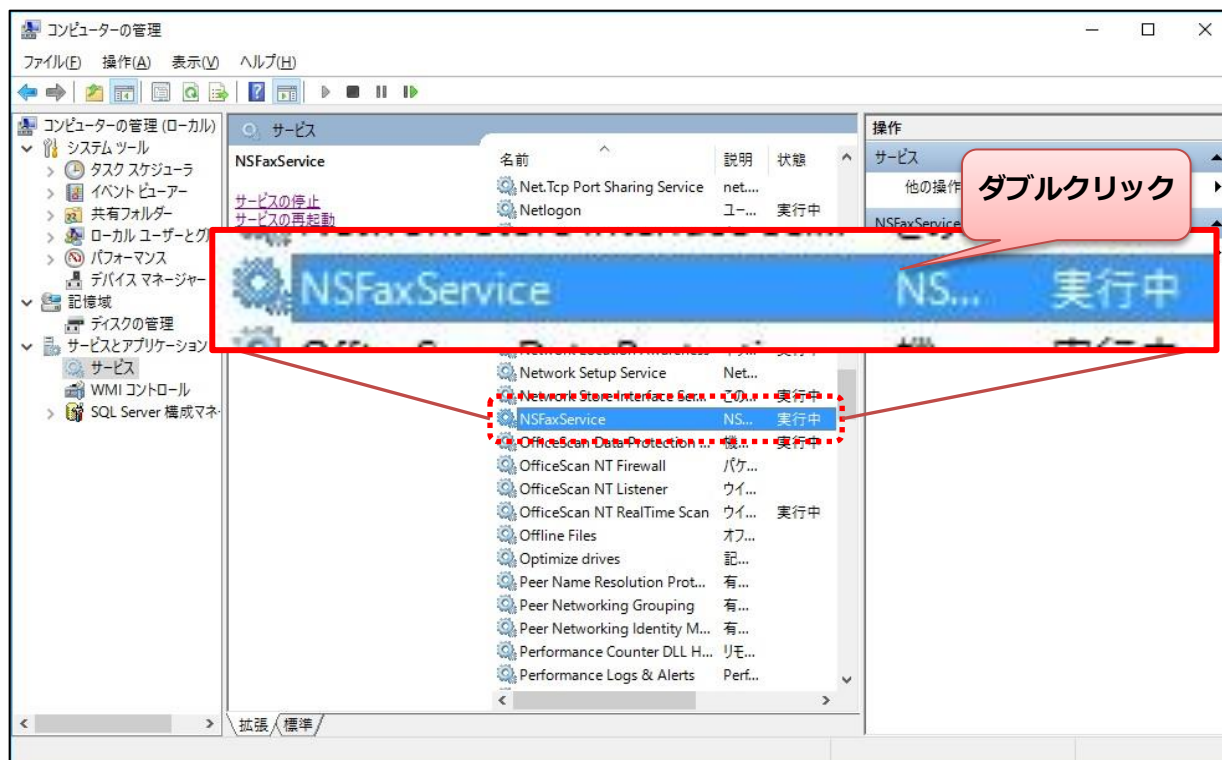


モデムドライバ設定の変更（※FAXサービスオプション利用時のみ）

④「サービスとアプリケーション」をクリックし、「サービス」をダブルクリックします。

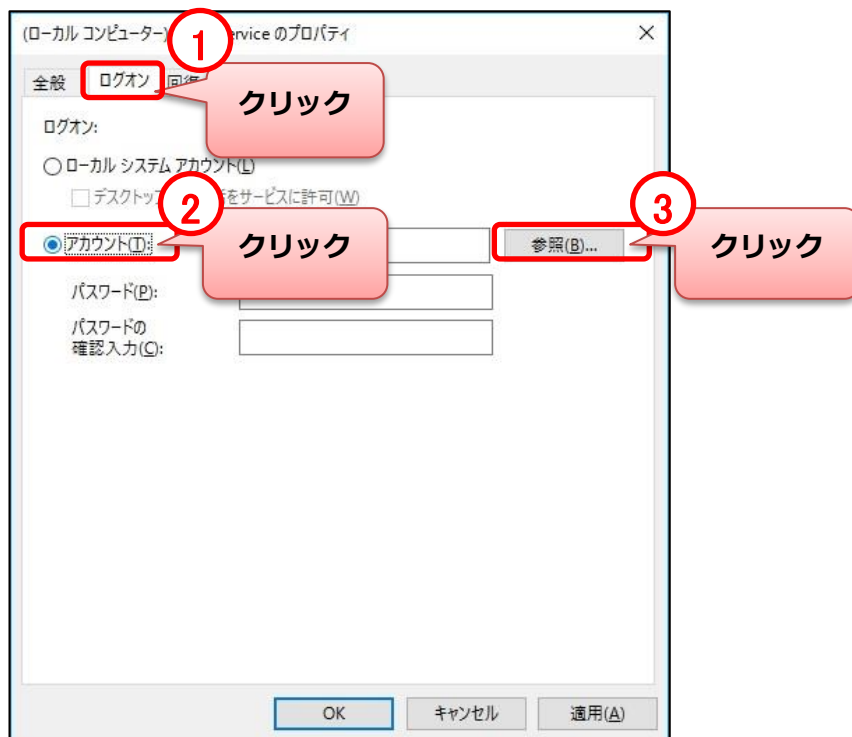


⑤「NSFaxService」をダブルクリックで選択します。

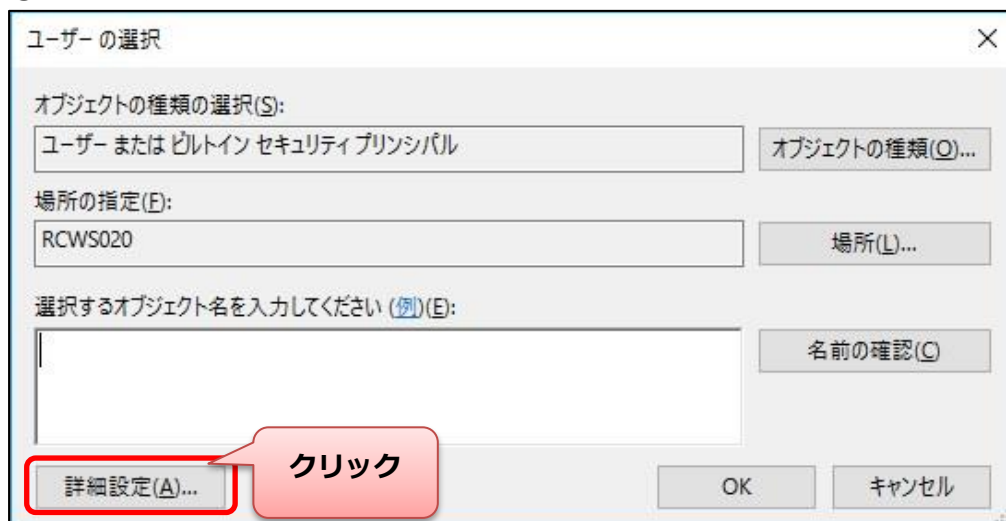


モデムドライバ設定の変更（※FAXサービスオプション利用時のみ）

⑥「ログオン」をクリックし、「アカウント」⇒「参照」の順にクリックします。

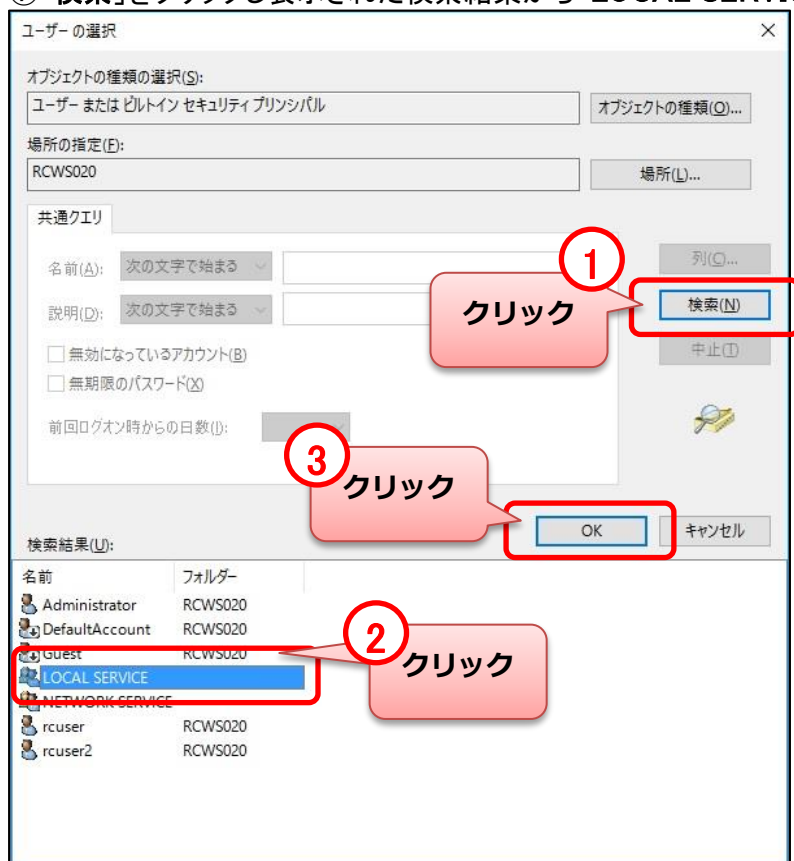


⑥「詳細設定」をクリックします。

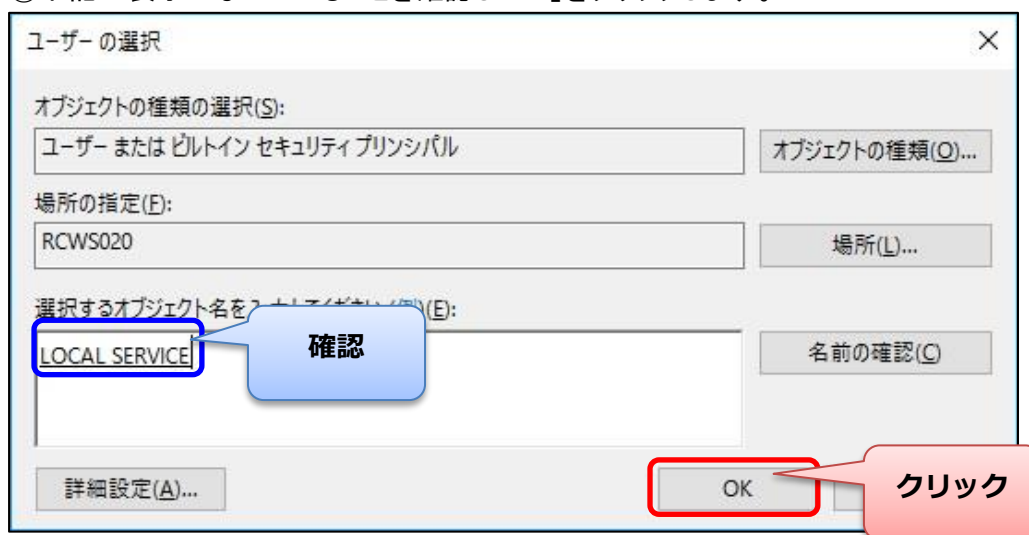


モデムドライバ設定の変更（※FAXサービスオプション利用時のみ）

⑦「検索」をクリックし表示された検索結果から「LOCAL SERVICE」をクリックし「OK」をクリックします。

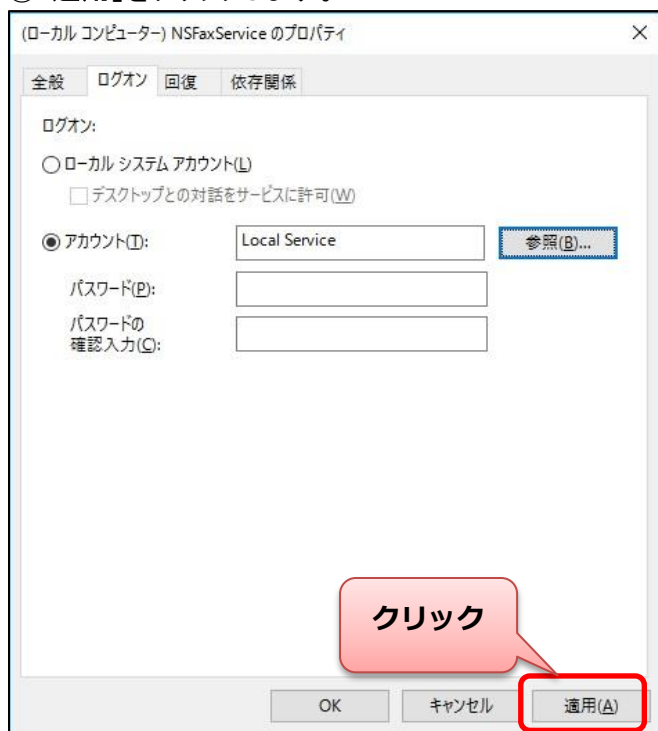


⑧下記の表示になっていることを確認し「OK」をクリックします。

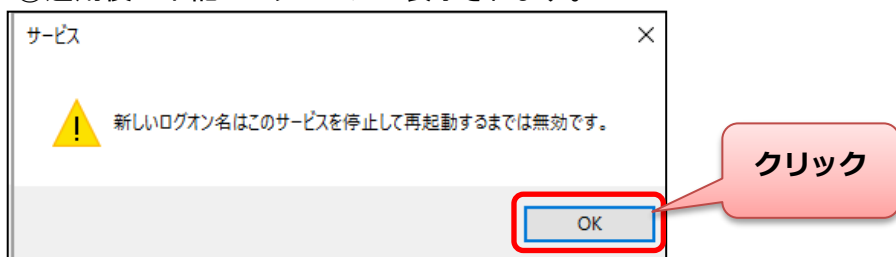


モデムドライバ設定の変更（※FAXサービスオプション利用時のみ）

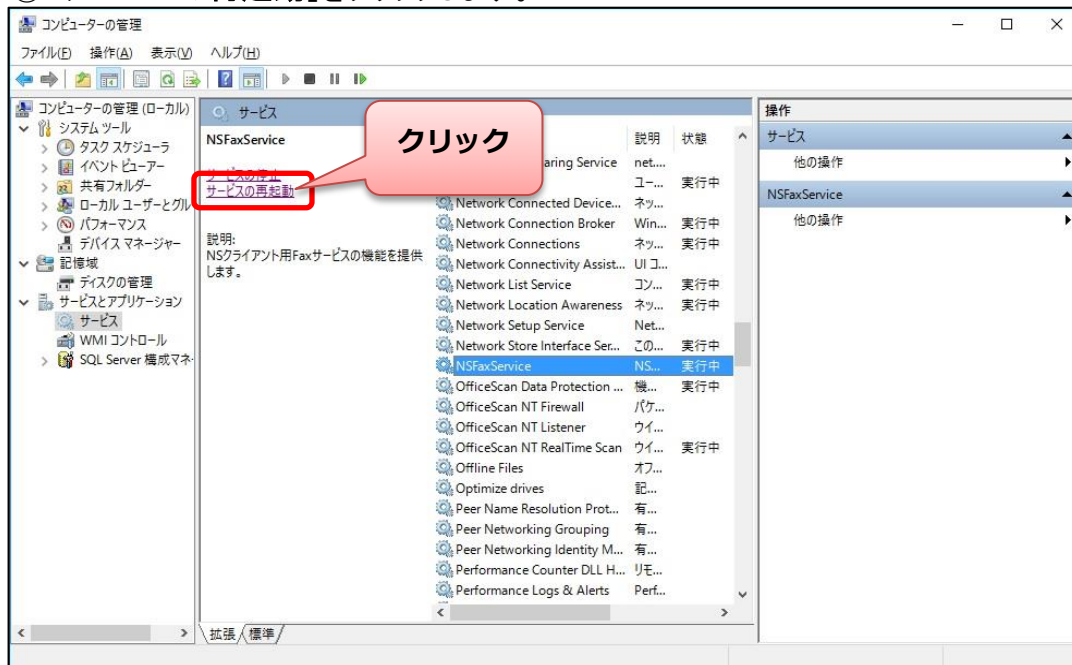
⑨「適用」をクリックします。



⑩適用後に下記のメッセージが表示されます。




⑪「サービスの再起動」をクリックします。



モデムドライバ設定の変更（※FAXサービスオプション利用時のみ）

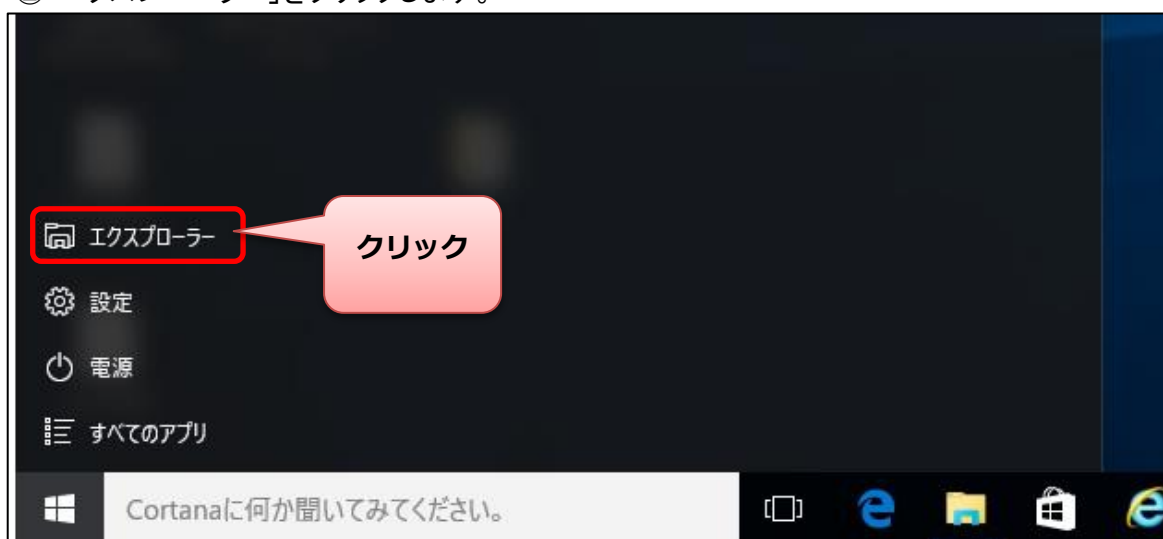
■NSFaxServiceインストールディレクトリの権限変更

※ FAXサービスオプションを利用しないお客様は本手順は不要です

①Windows10にアップデート後、画面左下にある「」をクリックします。



②「エクスプローラー」をクリックします。

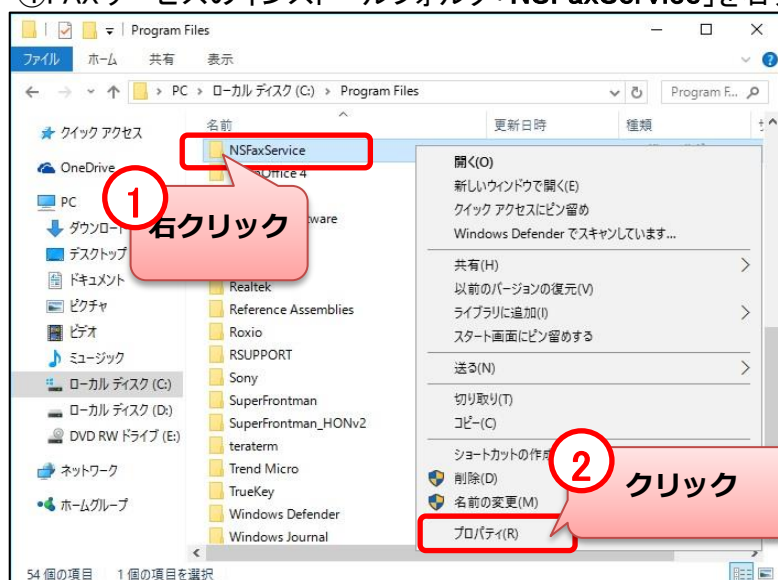


③「エクスプローラー」が表示されます。



モデムドライバ設定の変更（※FAXサービスオプション利用時のみ）

④FAXサービスのインストールフォルダ「NSFaxService」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



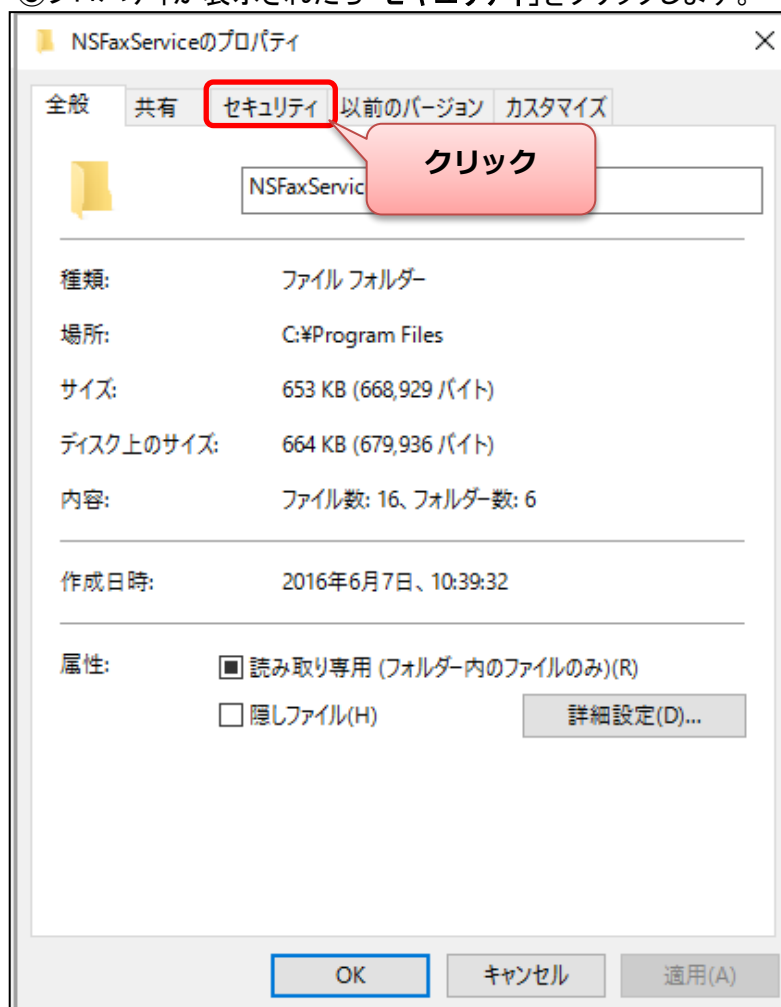
インストールフォルダは
環境により異なる場合があります。

【インストールフォルダの主な場所】

◎ 32bit版の場合
c:¥ProgramFiles

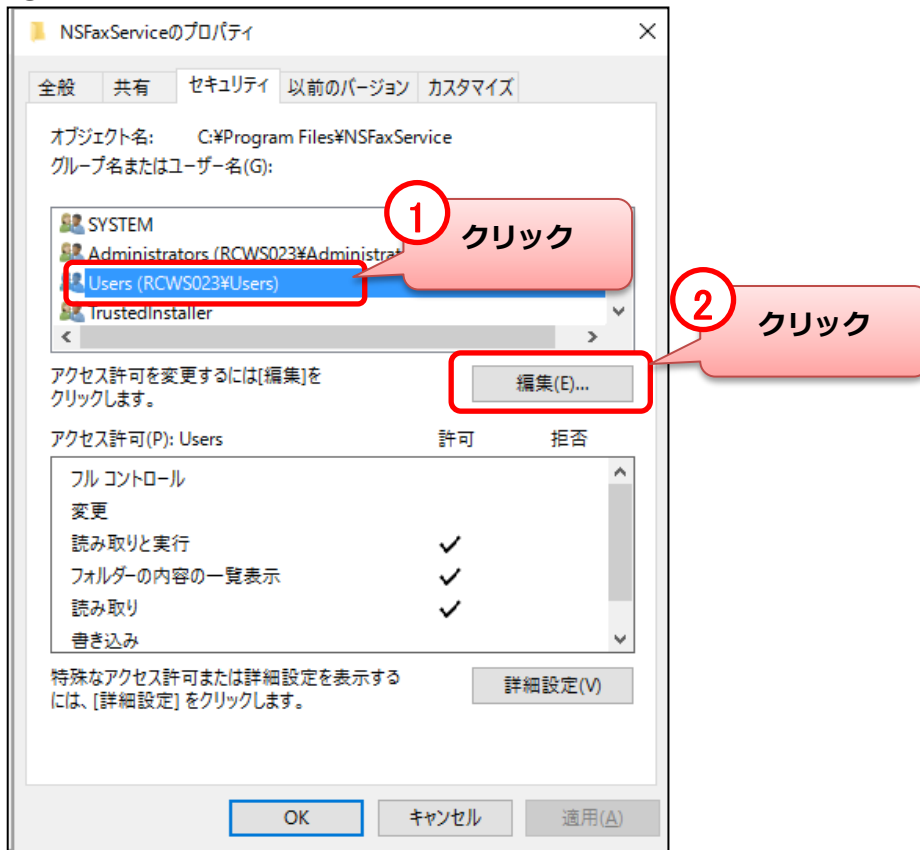
◎ 64bit版の場合
c:¥ProgramFiles(x86)

⑤プロパティが表示されたら「セキュリティ」をクリックします。

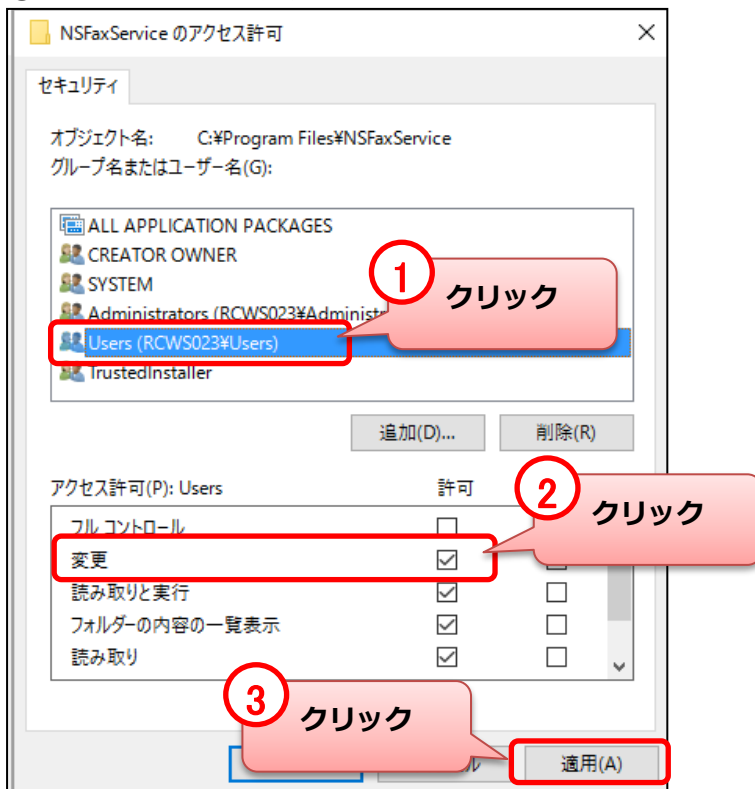


Windowsサービスの設定変更（※FAXサービス利用時のみ）

⑥「Users」を選択し「編集」をクリックします。




⑦「Users」を選択し「変更」の「許可」にチェックをつけます。



「適用」をクリックし設定変更完了です。

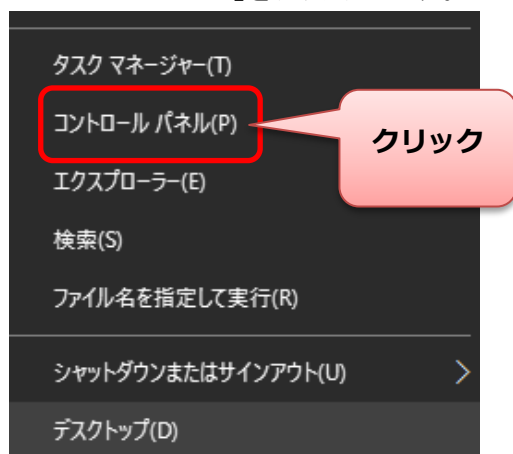
「入力方式の切り替え」方式の設定確認

アップデート後に.NSのシステム動作に関連する
Windows設定を確認します。

①Windows10にアップデート後、画面左下にある「」を右クリックします。



②「コントロールパネル」をクリックします。



③「時計、言語、および地域」をクリックします。

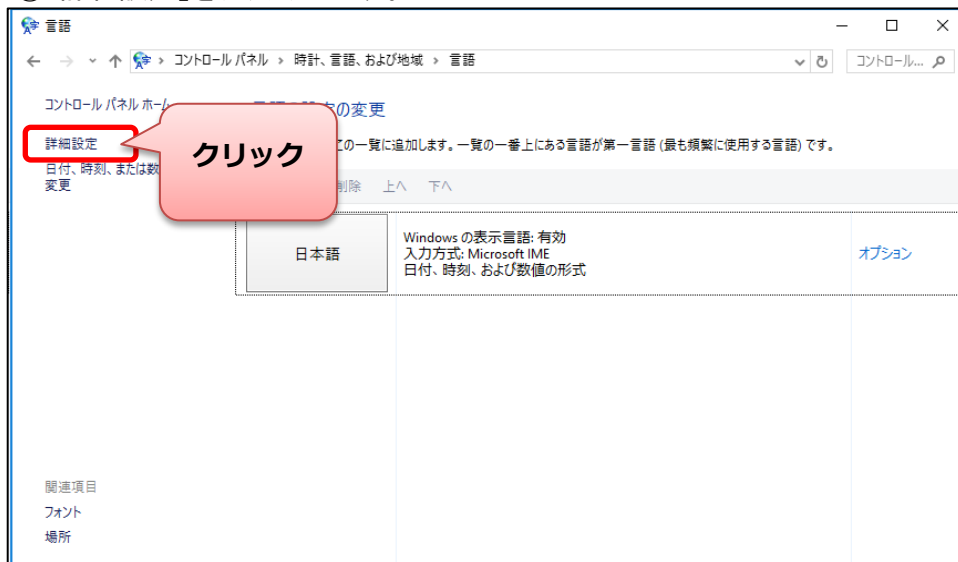


「入力方式の切り替え」方式の設定確認

④「言語」をクリックします。

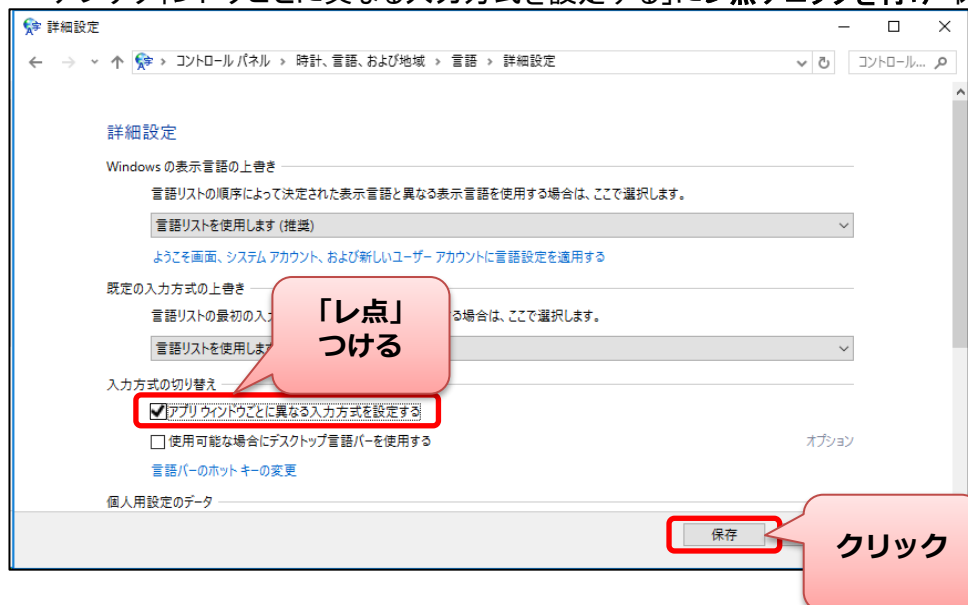


⑤「詳細設定」をクリックします。



「入力方式の切り替え」方式の設定確認

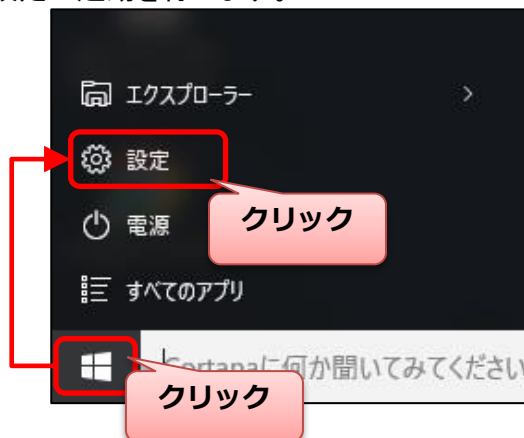
- ⑥「入力方式の切り替え」を確認します。
「アプリウィンドウごとに異なる入力方式を設定する」に**レ点チェック**を付け「保存」をクリックします。



通常使うプリンタの設定確認

Windows10では従来のWindowsと「通常使うプリンタ」の設定が異なります。
そのため、「通常使うプリンタ」の設定状況を確認します。

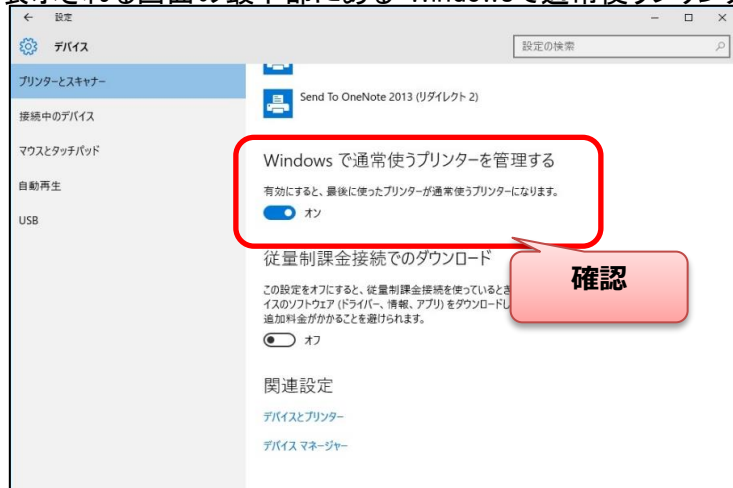
①設定の起動を行います。



②「デバイス」をクリックします。

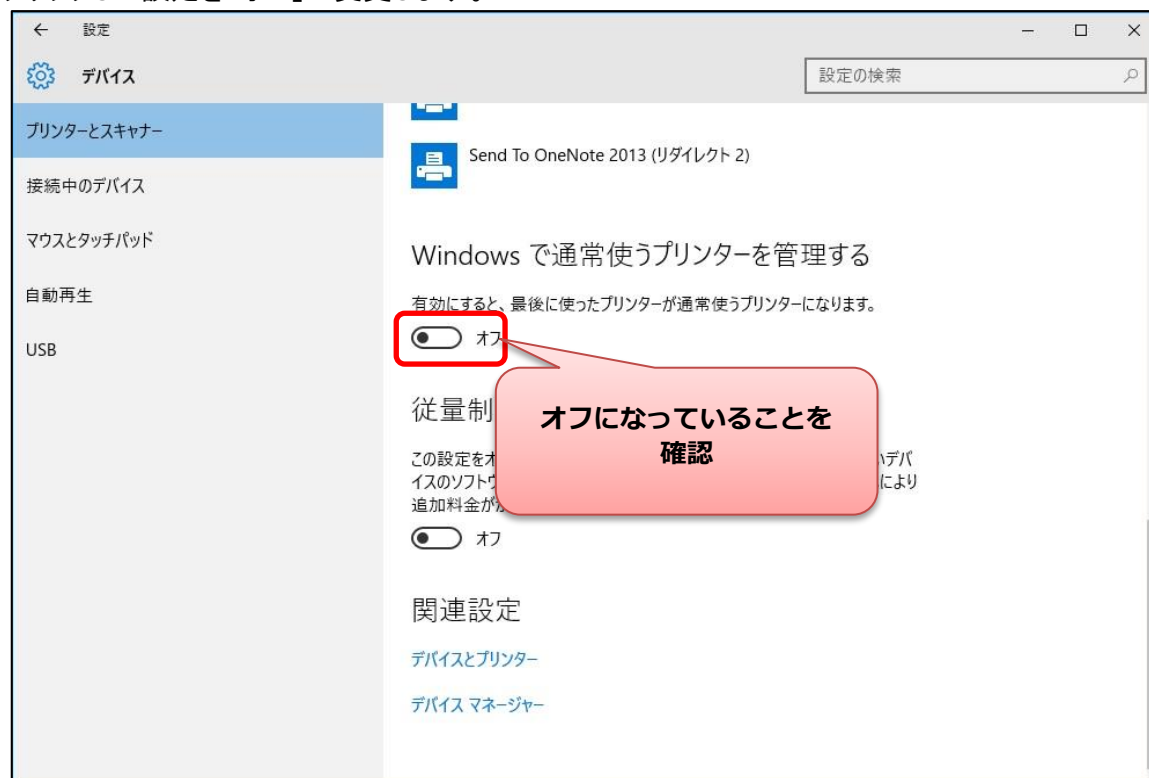


③表示される画面の最下部にある「Windowsで通常使うプリンターを管理する」の設定を確認します。




通常使うプリンタの設定確認

④クリックして設定を「オフ」に変更します。



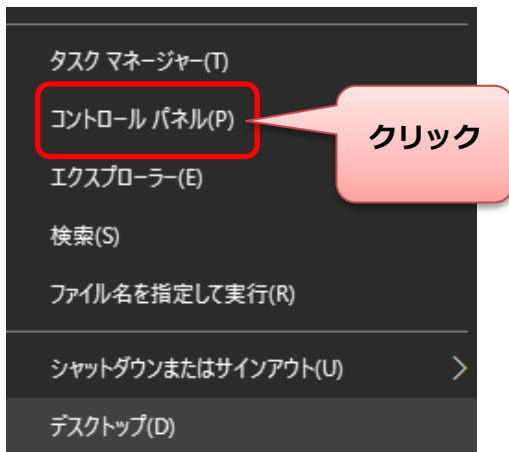
ユーザーアカウント制御の設定状況確認

アップデート後に.NSのシステム動作に関連する
Windows設定を確認します。

①Windows10にアップデート後、画面左下にある「」を右クリックします。



②「コントロールパネル」をクリックします。



③「ユーザーアカウント」をクリックします。



ユーザーアカウント制御の設定状況確認

④「ユーザーアカウント」をクリックします。

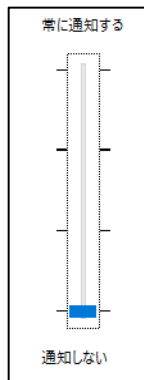
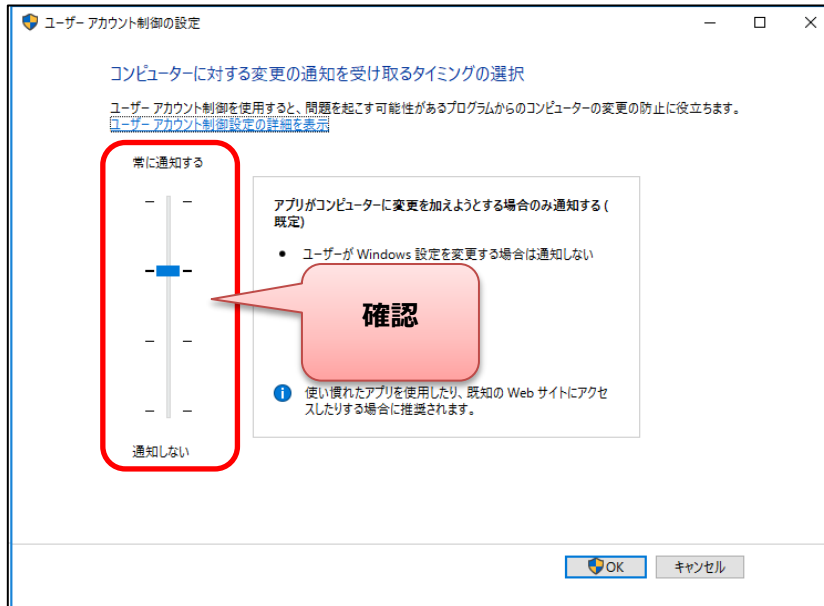


⑤「ユーザーアカウント制御設定の変更」をクリックします。



ユーザーアカウント制御の設定状況確認

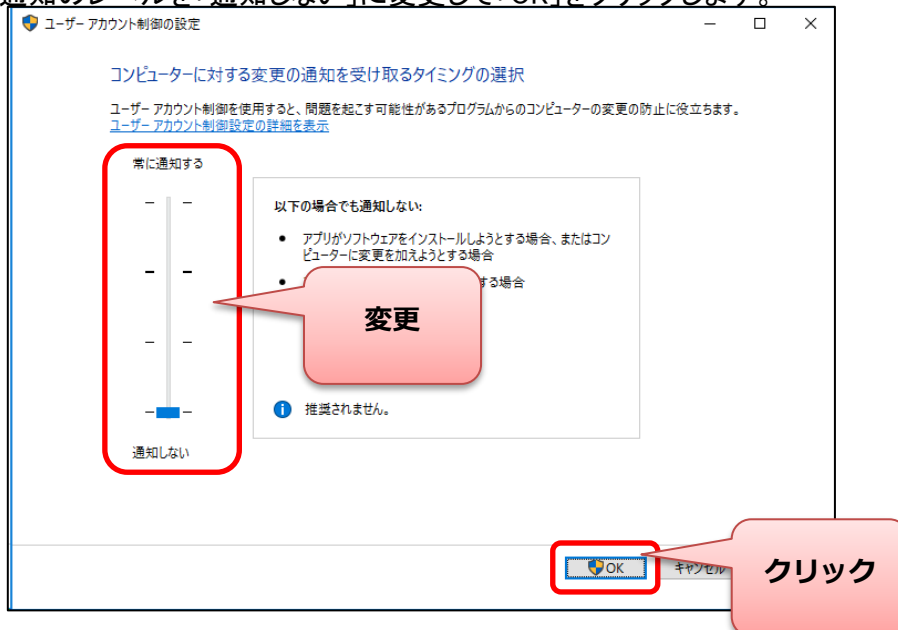
⑥「通知」のレベルを確認します



左記の状態の場合は特に設定変更する必要はありません。

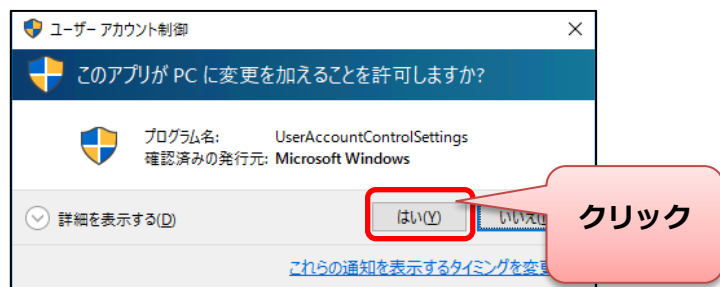
左記以外の状態の場合のみ次の手順を行ってください。

⑦通知のレベルを「通知しない」に変更して「OK」をクリックします。



ユーザーアカウント制御の設定状況確認

⑧メッセージが表示されるので「はい(Y)」をクリックします。



以上で設定の変更は完了です。

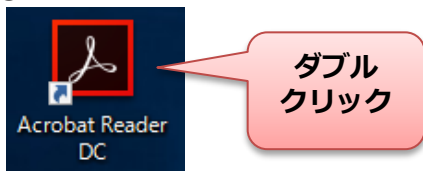
Adobe Acrobat Readerのバージョン確認

アップデート後に.NSのシステム動作に関連する
Windows設定を確認します。

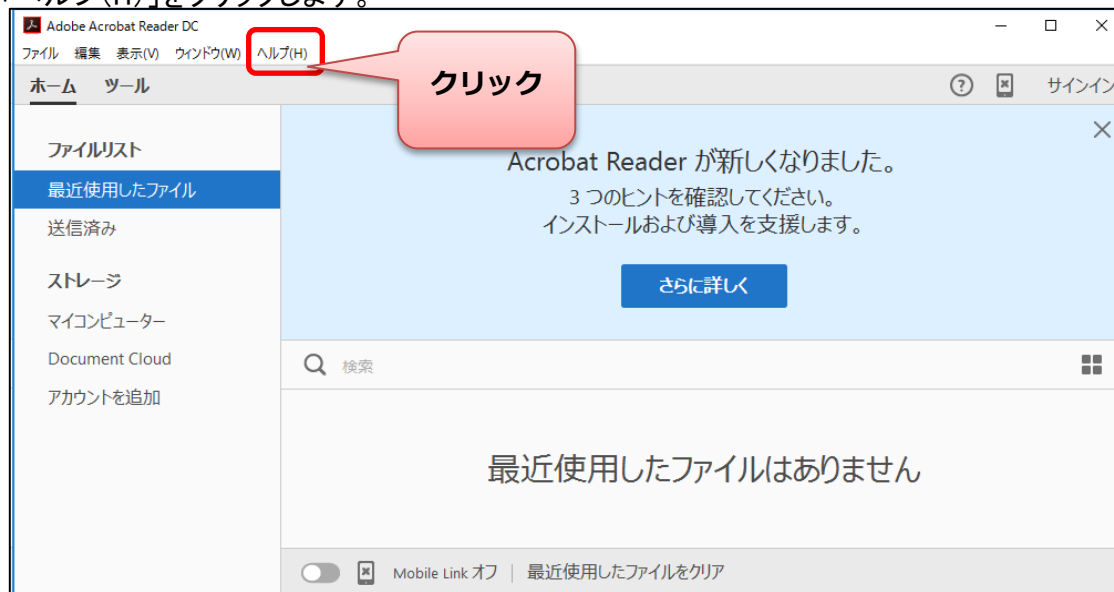
※最新のバージョン以外は正常動作しない可能性があります。

■ Adobe Acrobat Reader DCが導入されている場合

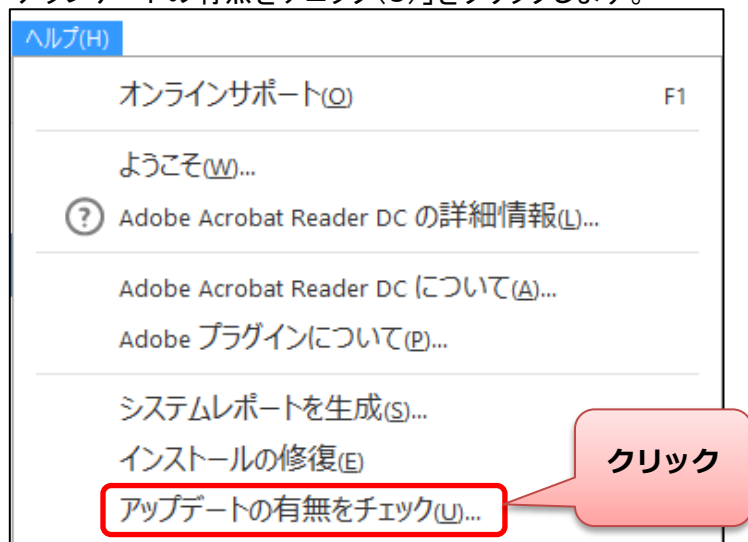
①デスクトップに表示のアイコンをダブルクリックします。



②「ヘルプ(H)」をクリックします。



③「アップデートの有無をチェック(U)」をクリックします。



Adobe Acrobat Readerのバージョン確認

- ④最新の状態でない場合は下記画面が表示されます。
「ダウンロード(D)」をクリックします。



- ⑤ダウンロードが完了するとインストール確認の画面が表示されます。
「インストール(I)」をクリックします。

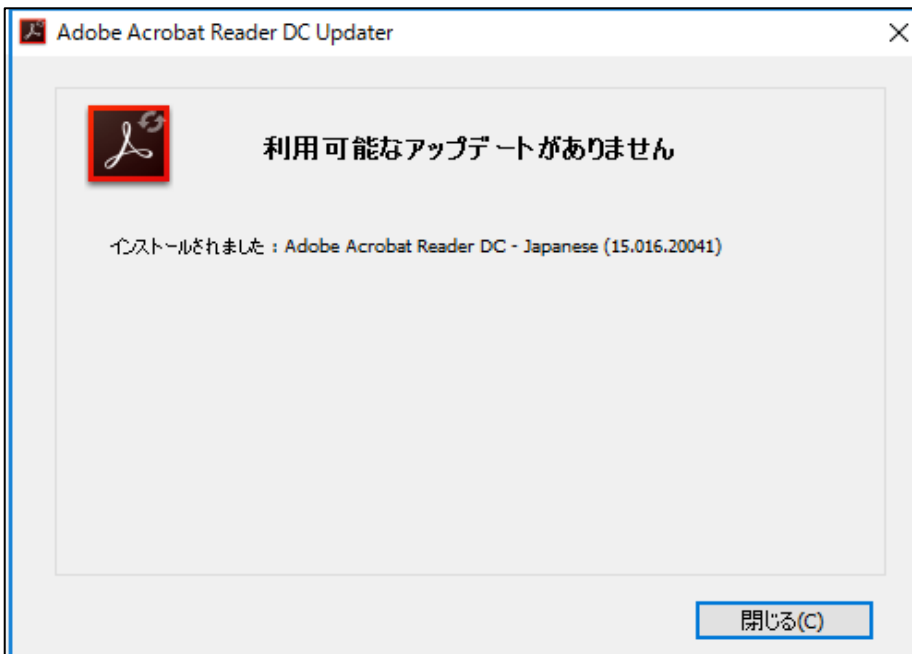


Adobe Acrobat Readerのバージョン確認

- ⑥インストール処理完了後、再起動が必要となる場合があります。
下記のメッセージが表示された場合は「今すぐ再起動(R)」をクリックしパソコンの再起動を行います。



- ⑦再起動後、同様の手順を実施し下記の画面が表示されたら処理完了です。



Windows10利用上の注意点

Windows10には各種の新機能が搭載されています。

下記機能を利用した場合、.NSシリーズが正常動作しませんのでご注意ください。

①タブレットモードの利用不可



Windows10の「タブレットモード」では
.NSシリーズが正常動作しません。
タブレットモードでの利用は行わないでください

②マルチデスクトップ環境での動作不可



マルチデスクトップ機能を利用して.NSシリーズを動作・利用することはできません。

③Microsoft Edgeの利用不可



外部連携などの機能を利用する場合、使用ブラウザはEdgeは非対応となります。
Internet Explorerのご利用が推奨となります。

伝票印刷時にプレビュー画面で文字化けが発生した場合

伝票印刷時のプレビューで文字化けが発生するケースがあります。

マイクロソフトより、Windows10アップグレードにより特定の条件で文字化けが発生されていることが報告されております。<https://support.microsoft.com/ja-jp/kb/3144536>

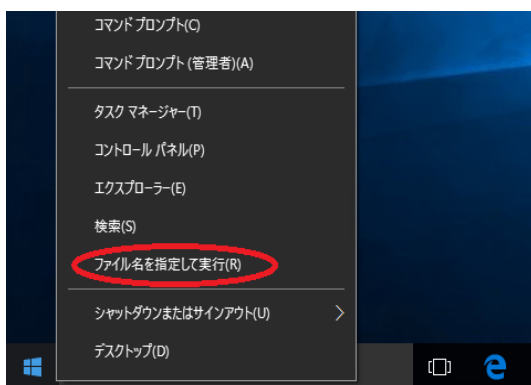
その場合、以下手順をご確認の上、パソコンの設定変更を行っていただきますよう、お願いいたします。

※各作業には管理者権限が必要です。管理者ユーザーでサインインしてください。

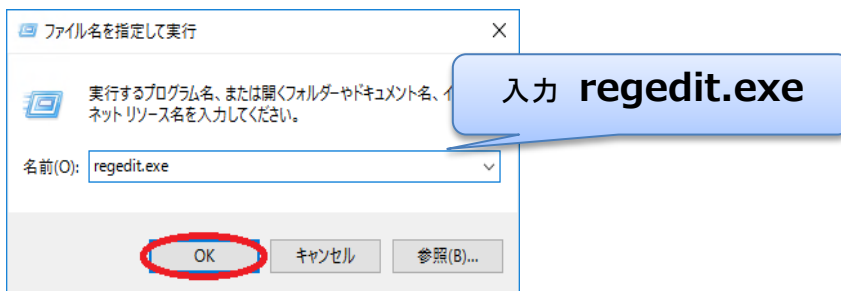
**本手順にご不明な点がございましたら処理を実行する前に
目次記載の弊社コールセンターまでご連絡願います。**

①レジストリの情報を削除します。

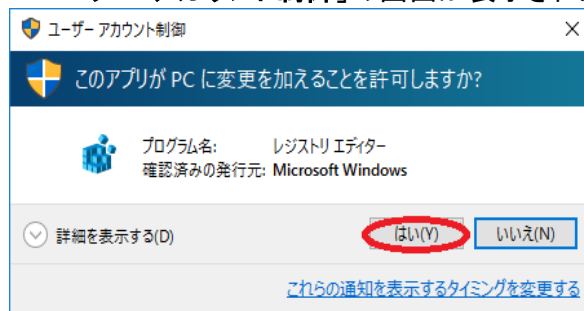
- 1) キーボードの Windows キーを押下したまま R キーを押下し、「ファイル名を指定して実行」を開きます。
※ スタート ボタンの右クリックで表示されるメニューから選択することもできます。



- 2) 「名前 (O)」欄に「regedit.exe」と入力し、[OK] をクリック、またはタップします。



- 3) 「ユーザー アカウント制御」の画面が表示されたら、[はい (Y)] をクリックします。



伝票印刷時にプレビュー画面で文字化けが発生した場合

4) レジストリ エディターの左ペインのツリーから、下記のキーを展開し、選択します。

[コンピューター]

- [HKEY_LOCAL_MACHINE]

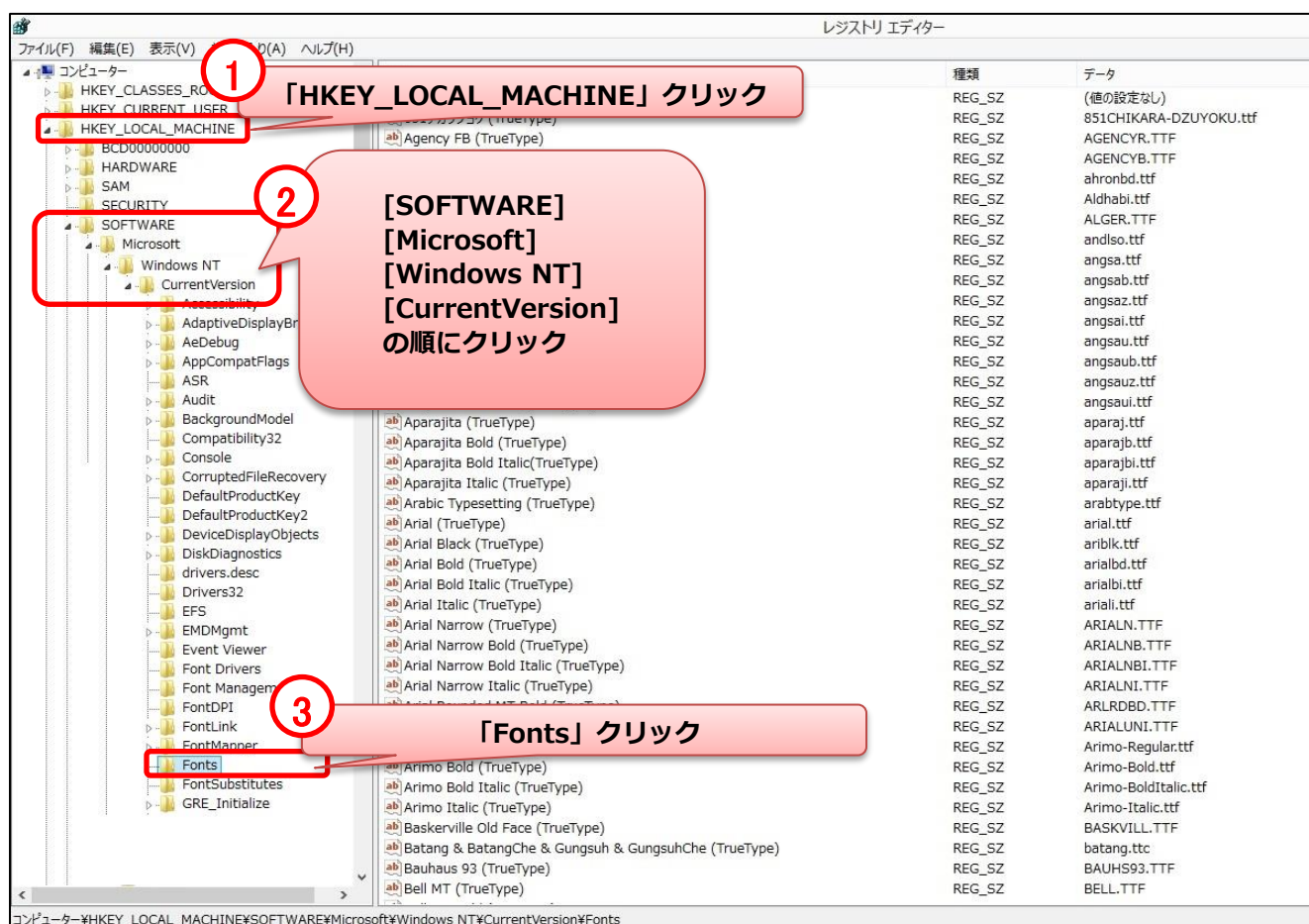
- [SOFTWARE]

- [Microsoft]

- [Windows NT]

- [CurrentVersion]

- [Fonts]



伝票印刷時にプレビュー画面で文字化けが発生した場合

5) 「Fonts」が正常に選択できると下記のような画面が表示されます。



6) 複数の重複フォントファイルの確認をします。

MS Gothic & MS UI Gothic & MS P...	REG_SZ	msgothic.ttc
MS Mincho & MS PMincho (TrueTy...	REG_SZ	msmincho.ttc
M S P 明朝 (TrueType)	REG_SZ	MSPMINCHO.TTF
MS Sans Serif 8,10,12,14,18,24	REG_SZ	SSERIFE.FON
MS Sans Serif 8,10,12,14,18,24 (120)	REG_SZ	SSERIFF.FON
MS Serif 8,10,12,14,18,24	REG_SZ	SERIFE.FON
MS Serif 8,10,12,14,18,24 (120)	REG_SZ	SERIFF.FON
M S 明朝 (TrueType)	REG_SZ	MSMINCHO.TTF

■確認するフォントファイル

- ① **MS P明朝 (TrueType) MSPMINCHO.TTF**
- ② **MS 明朝 (TrueType) MSMINCHO.TTF**
- ③ **MS Mincho & MS PMincho (TrueType) msmincho.ttc**

上記のフォントファイル③以外が存在する場合に、以降の処理が必要となります。

※①②のフォントが存在しない場合には本手順は不要です。

フォントの重複が見つからない場合は以降の処理は不要です。

伝票印刷時にプレビュー画面で文字化けが発生した場合

7) フォントファイルの重複が確認できた場合、従来使用していたフォントファイルを削除します。

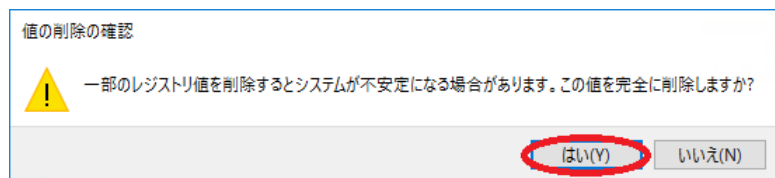
フォントの重複が見つからない場合は以降の処理は不要です。

ab MS Gothic & MS UI Gothic & MS R...	REG_SZ	msgothic.ttc	最新版フォント
ab MS Mincho & MS PMincho (TrueTy...	REG_SZ	msmincho.ttc	
ab M S P 明朝 (TrueType)	REG_SZ	MSPMINCHO.TTF	
ab MS Sans Serif 8,10,12,14,18,24	REG_SZ	SSERIFE.FON	
ab MS Sans Serif 8,10,12,14,18,24 (120)	REG_SZ	SSERIFF.FON	
ab MS Serif 8,10,12,14,18,24	REG_SZ	SERIFE.FON	
ab MS Serif 8,10,12,14,18,24 (120)	REG_SZ	SERIFF.FON	
ab M S 明朝 (TrueType)	REG_SZ	MSMINCHO.TTF	削除対象の従来フォント

8) 従来フォントファイルの削除



9) 「値の削除の確認」画面が表示されたら、[はい (Y)] をクリックします。



前手順で確認したフォントを同様の手順で削除します。

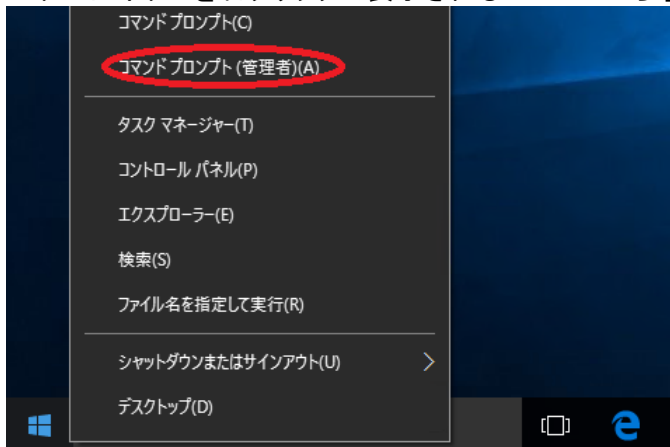
※重複が確認できない場合はフォントの削除は行わないでください。

10) レジストリ エディターを終了し、コンピューターを再起動します。

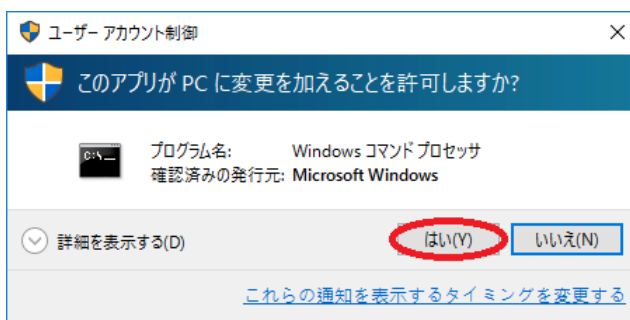
伝票印刷時にプレビュー画面で文字化けが発生した場合

②フォントファイルを削除します。

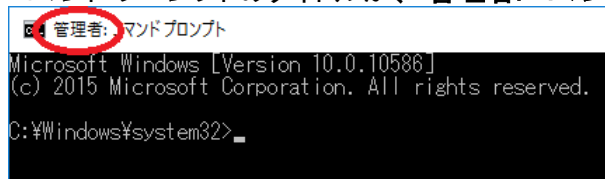
- 1) スタート ボタンを右クリックで表示されるメニューから [コマンド プロンプト (管理者)(A)] を選択します。



- 2) 「ユーザー アカウント制御」の画面が表示されたら、[はい (Y)] をクリックします。



※コマンド プロンプトが起動します。
コマンド プロンプトのタイトルが、「管理者: コマンド プロンプト」になっていることを確認します。



- 3) 「cd %windir%\Fonts」と入力してエンターキーを押します。

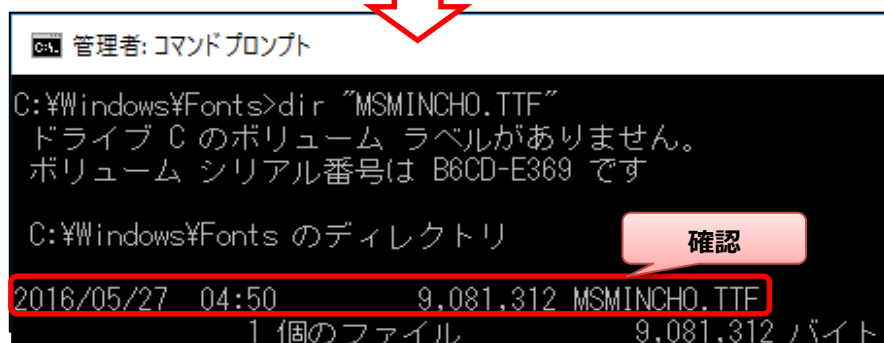
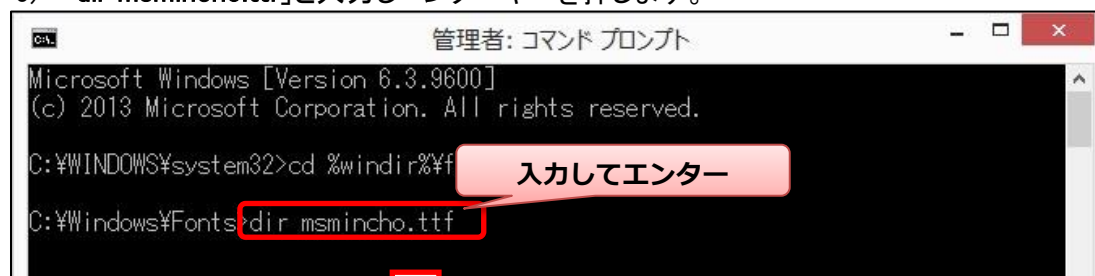


- 4) 「C:\Windows\Fonts」と表示されていることを確認します。



伝票印刷時にプレビュー画面で文字化けが発生した場合

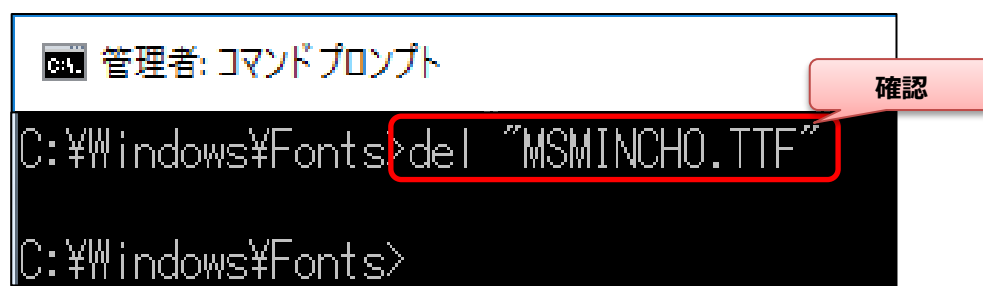
5) 「dir msmincho.ttf」と入力しエンターキーを押します。



削除対象のファイルが存在する場合は上記の表示になります。

「ファイルが見つかりません」と表示される場合は、以降の処理はお控えください。

6) 「del "msmincho.ttf"」と入力してエンターキーを押します。



【注意】

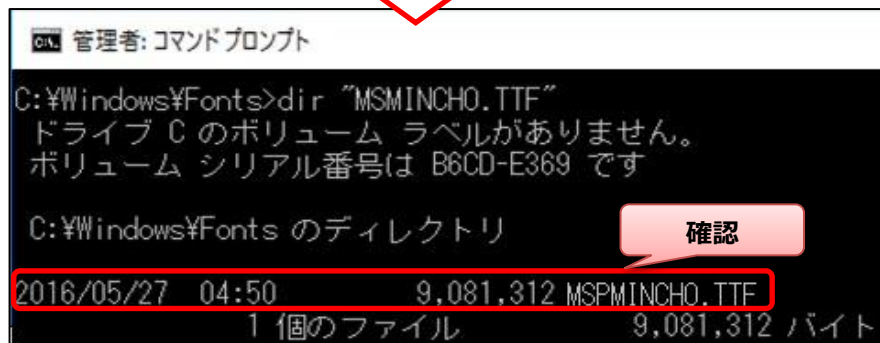
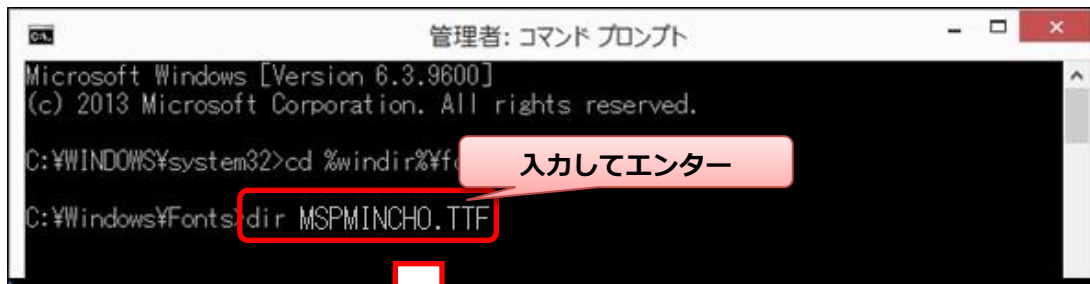
誤った文字を入力すると削除対象以外のフォントファイルを削除する可能性があります。

エンターキーを押す前に入力内容を再確認してください。

エンターキーを押した後、削除に成功すると何もメッセージ表示なく、
上記の画面表示となります。

伝票印刷時にプレビュー画面で文字化けが発生した場合

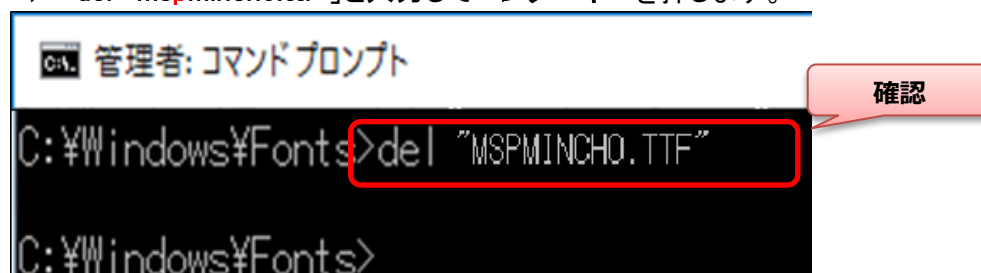
7) 「dir ms~~p~~mincho.ttf」と入力しエンターキーを押します。



削除対象のファイルが存在する場合は上記の表示になります。

「ファイルが見つかりません」と表示される場合は、以降の処理はお控えください。

8) 「del "ms~~p~~mincho.ttf"」と入力してエンターキーを押します。



【注意】

誤った文字を入力すると削除対象以外のフォントファイルを削除する可能性があります。

エンターキーを押す前に入力内容を再確認してください。

上記処理を行っても印刷プレビューが正常に表示できない場合は
お手数ですが弊社コールセンターまでお問合せください。

伝票印刷時にプレビュー画面で文字化けが発生した場合

③日本語補助フォントをインストールします。

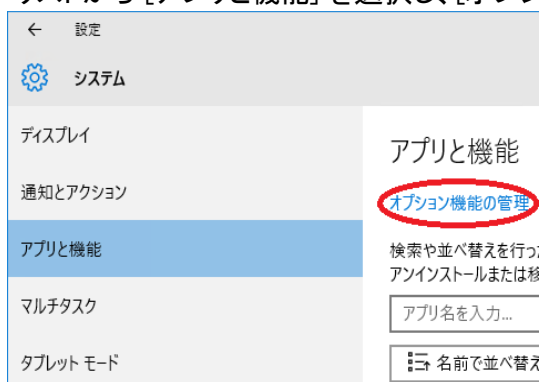
- 1) スタートメニューから、[設定]を開きます。



- 2) 設定の一覧から [システム] を開きます。



- 3) リストから [アプリと機能] を選択し、[オプション機能の管理]を開きます。



- 4) オプション機能の管理で、[機能の追加]を開きます。

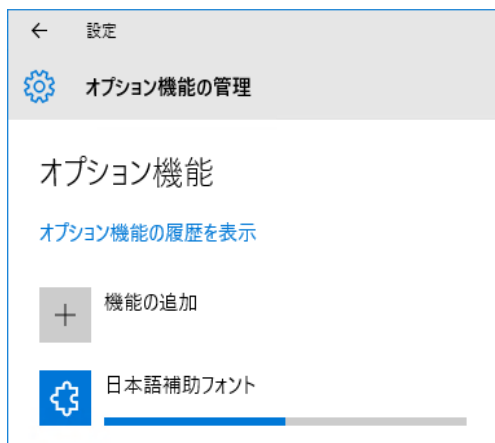


伝票印刷時にプレビュー画面で文字化けが発生した場合

- 5) 機能の一覧から、[日本語補助フォント] を選択し、[インストール] をタップまたはクリックします。



- 6) オプション機能の管理に戻り、日本語補助フォントがインストールされていることを確認します。



- 7) インストールが完了したら、コンピューターを再起動します。
- 8) 伝票を印刷し、文字化けが解消されているかご確認下さい。

【ご注意】

- ①本操作マニュアルの内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- ②本操作マニュアルの内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③本操作マニュアルの内容について、誤りや記載漏れなどお気づきの点がありましたら、本操作マニュアルの発行所までご連絡ください。連絡先は巻末に記載してあります。
- ④運用した結果の損害については、③項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承下さい。

Windows10アップグレード後の設定手順(Win7→Win10)



2016年06月24日 第1版発行

2016年06月27日 第2版発行

2016年07月08日 第3版発行

【発行所】

株式会社ブロードリーフ

〒140-0002 東京都品川区東品川4-13-14

グラスキューブ品川

TEL 0570-0570-20

